

みんなの こえで みんなを げんきに

● コロナ×こどもアンケート

コロナ×こどもアンケート 第2回調査 報告書

2020年8月18日

修正：2020年9月7日
修正：2023年12月18日



コロナ×こどもアンケート第2回調査報告書

はじめに.....	3
調査について.....	4
調査結果.....	6
基本属性.....	6
回答人数と回答日.....	6
性別.....	7
学年.....	8
居住地域.....	9
家庭の状況.....	10
経済状況.....	10
こどもたちの生活の状況.....	11
こども在宅時のおとなの在宅状況.....	11
登校・登園の状況.....	12
医療関連.....	13
乳幼児健診に関する意識.....	13
家庭内での事故.....	15
新型コロナウイルス（コロナ）に関する知識・意識・交友関係.....	16
知識.....	16
意識（スティグマ）.....	17
交友関係の問題.....	19
こどもたちの健康と生活の質（QOL）.....	20
0~2 歳児の健康状態.....	23
3~17 歳児の生活の質（QOL）.....	26
こどもたちが相談できる相手.....	20
相談できる人.....	20
ストレス反応.....	34
症状.....	34
親子の関わり.....	51
好ましい関わり.....	51
好ましくない関わり.....	54
保護者のメンタルヘルス.....	57

こころの状態	57
保護者のストレスケア	58
こどもたちの声	59
こどもの意見は反映されているか	59
おとなたちに言いたい・伝えたいこと	60
保護者の声.....	63
知りたいこと・必要なもの.....	63
おわりに.....	71

はじめに

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックにより、おとなの生活だけでなくこどもたちの生活も大きく変わりました。2020年3月から5月にかけて、日本中の多くの学校が臨時休校になりました。4月末から5月の間に実施した第1回【コロナ×こどもアンケート】では、ご協力くださったこどもたちや保護者の方々から、主に緊急事態宣言下での生活の様子やこころの状態、困りごとなどについて多くのことを教えていただきました。運動機会の減少、スクリーンタイム（テレビ・スマホ・ゲームなどを見る時間）の増加、コロナに関連したストレス症状が多くのこどもたちに現れていること、保護者のメンタルヘルスにも課題があること、などが明らかになりました。

https://www.ncchd.go.jp/center/activity/covid19_kodomo/report/report_01.html

第2回となる今回の調査【コロナ×こどもアンケートその2】は、多くの学校が再開した6月中旬から7月下旬の間に実施しました。感染防止のために新しい生活様式が導入され、また休校中の遅れを取り戻すために、こどもたちの勉強の負担も大きくなっていると聞きます。多くの学校では夏休みが大幅に短縮されました。一方で、調査期間中は連日のように感染者数の増加が報道されました。こどもたちはどのようなこころの状態でこの期間を過ごしたのでしょうか？私たちおとなはこどもたちのために何ができるのでしょうか？

今回の調査では、コロナに関連した差別や偏見（スティグマ）の存在を可視化することも試みました。感染流行が終息していない中で学校や社会生活が再開され、こどももおとなもこの問題を避けて通れない状況です。

本報告書では、第2回調査の全体の結果をご報告させていただきます。お時間のない方もぜひ、終盤の「こどもたちの声（おとなたちに言いたいこと・伝えたいこと）」だけでもお読みください。ハッとさせられる意見がきっとたくさんあると思います。

こどもたちの支援に取り組まれている多くの方々の一助となりましたら幸いです。

2020年8月18日

国立成育医療研究センター コロナ×こども本部 一同
co_kodomo@ncchd.go.jp

調査について

- 実施主体

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター コロナ×こども本部
(http://www.ncchd.go.jp/center/activity/covid19_kodomo/index.html)

- 実施時期

2020年6月15日～2020年7月26日（※7月27日未明まで回答受付）

- 対象

(1) 7～17歳のこども (2) 0～17歳のこどもの保護者

- 実施方法

インターネット調査

- リクルート協力団体

公益社団法人日本小児科学会

公益社団法人日本小児保健協会

公益社団法人こども環境学会

社会福祉法人日本保育協会

東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター (Cedep)

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

公益財団法人ベネッセこども基金

Yahoo!きっず (ヤフー株式会社)

産婦人科オンライン・小児科オンライン (株式会社 Kids Public)

認定NPO法人フローレンス

- 調査概要

- ・ こどもが未就学児（6歳以下）の場合には保護者に回答を依頼した。
- ・ こどもが小学生以上（7歳以上）の場合には、こどもだけ、保護者だけ、あるいはこどもと保護者両方に回答を依頼した（回答者が選択した）。
- ・ こどもと保護者両方の場合には、はじめに保護者が承諾、こどもが回答し続いて保護者が回答した。
- ・ 家族構成など共通部分する部分は保護者だけに回答を依頼した。
- ・ こどもを対象とした調査票は年齢により3段階のふりがなレベルを設定した。
- ・ 調査内容は、基本属性、家庭の様子、生活の様子、健康・生活の質（Quality of Life）、ストレス反応、親子の関わりや家庭でのトラブル、保護者のメンタル

ヘルス、ヘルスリテラシー、スティグマなど。

● 調査財源

科学技術振興機構

新型コロナウイルス感染症関連国際緊急共同研究・調査支援プログラム

J-RAPID「新型コロナ流行期におけるこどもの健康・生活に関する全国調査（コロナ×こどもアンケート）」

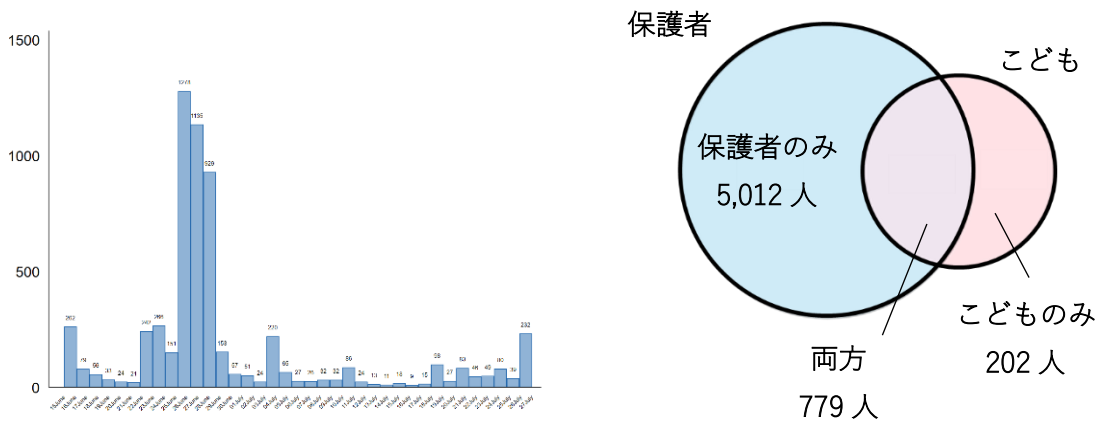
国立成育医療研究センター社会医学研究部裁量経費

調査結果

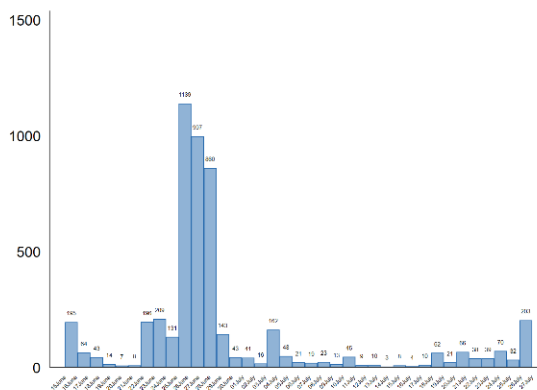
基本属性

回答人数と回答日

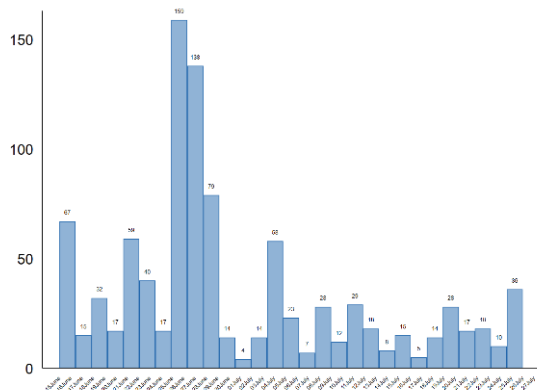
総回答数（保護者のみ・両方・こどものみ）（5,993 回答）



保護者回答数（保護者のみ）5,012 回答



子ども回答数（こどものみ・両方）981 回答



- ・保護者 5,791 人、子ども 981 人、あわせてのべ 6,772 人から回答を得た。
- ・保護者と子ども両方での回答は、779 組であった。

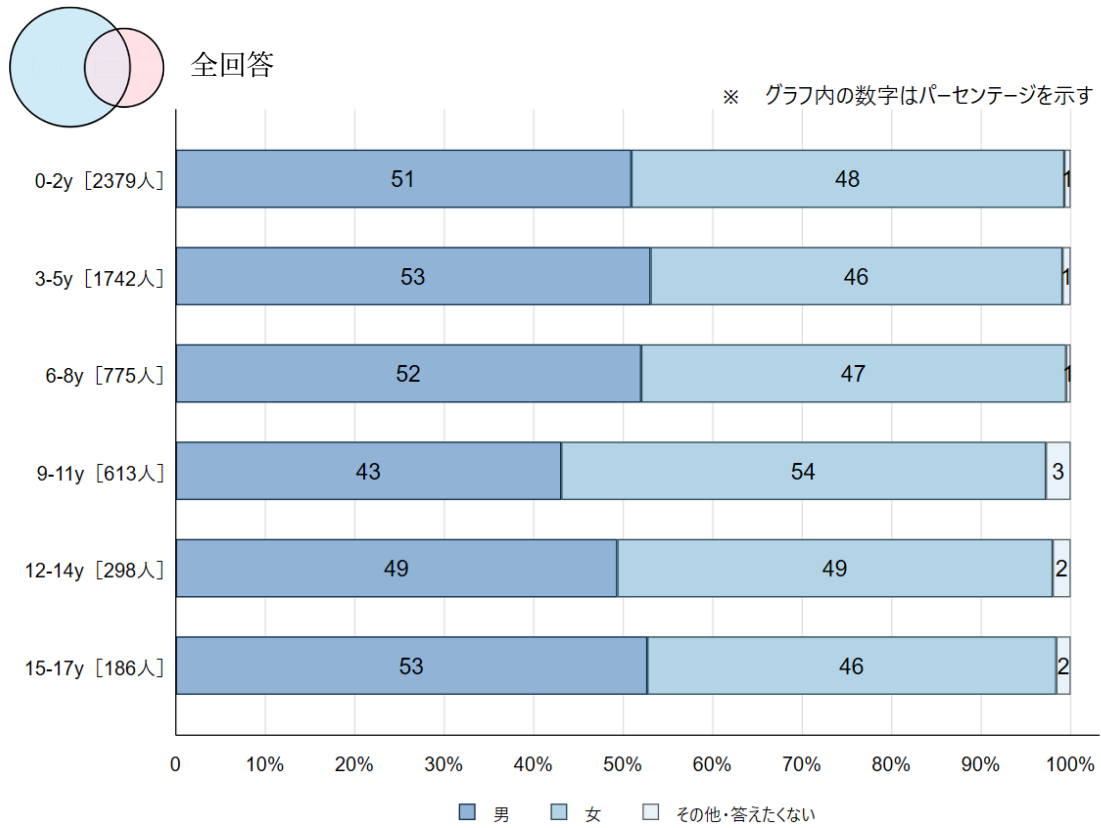
以下、**子ども** は子どもによる回答、**保護者** は保護者による回答を表す。

0-2y は「0～2 歳児（未就園児）」、3-5y は「3～5 歳児」、0-2y と 3-5y はあわせて「未就学児」、6-8y は「小学低学年」、9-11y は「小学高学年」、12-14y は「中学生」、15-17y は「高校生（相当）」を指す。ただし、年齢や学年は 2020 年 4 月 1 日時点のものである。

なお、回答中断などにより質問によって回答者数が異なることがある。

性別

お子さまの性別を教えてください。

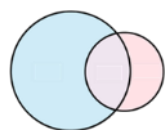


・男女比はおおよそ 1:1 であった。

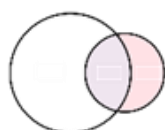
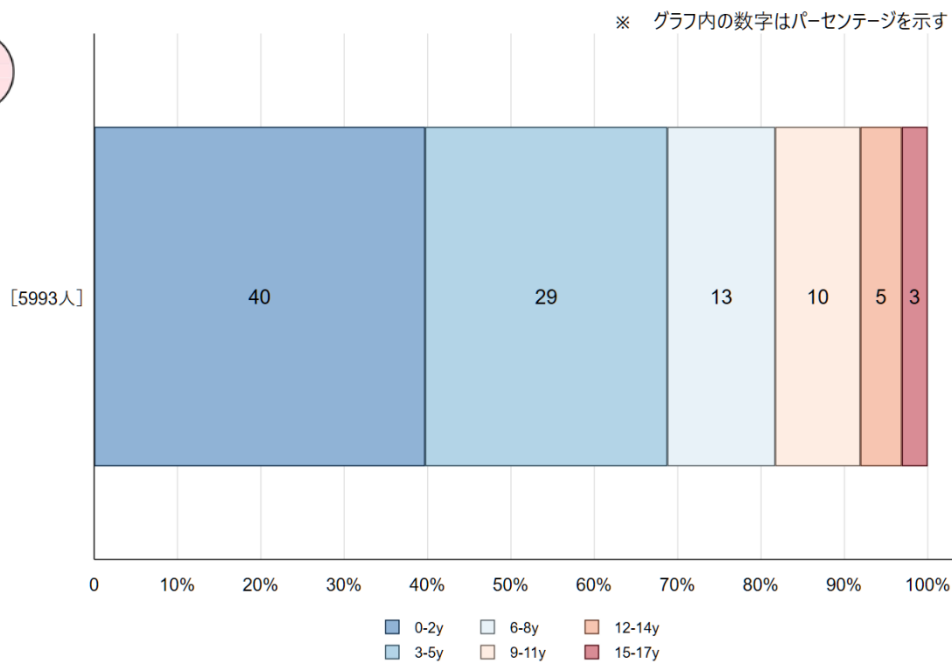
学年

お子さまの学年を教えてください。

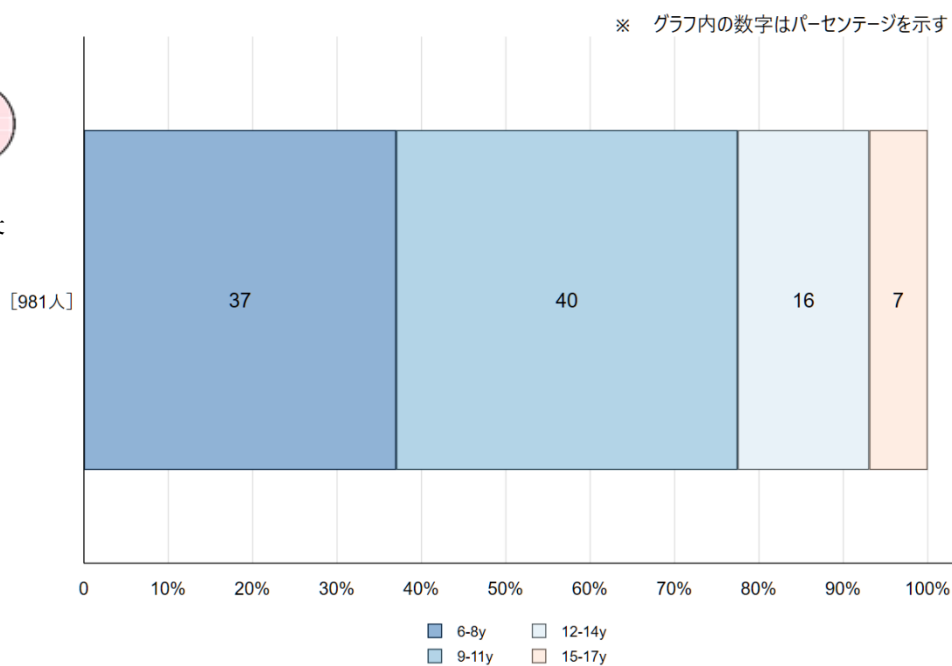
(2020年4月1日時点での年齢・学年を選んでください。)



全回答



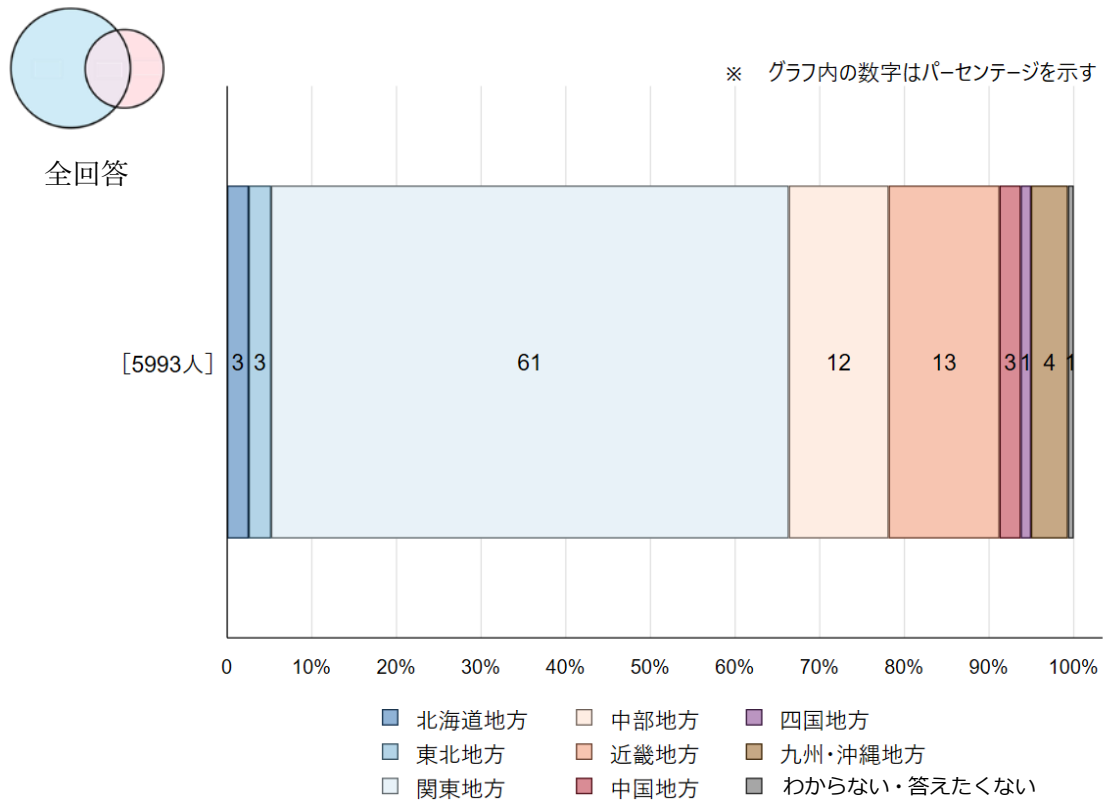
こども回答



- ・全回答の69%が未就学児（の保護者）であった。
- ・こどもによる回答の77%が小学生であった。

居住地域

お住まいの都道府県を選んでください。

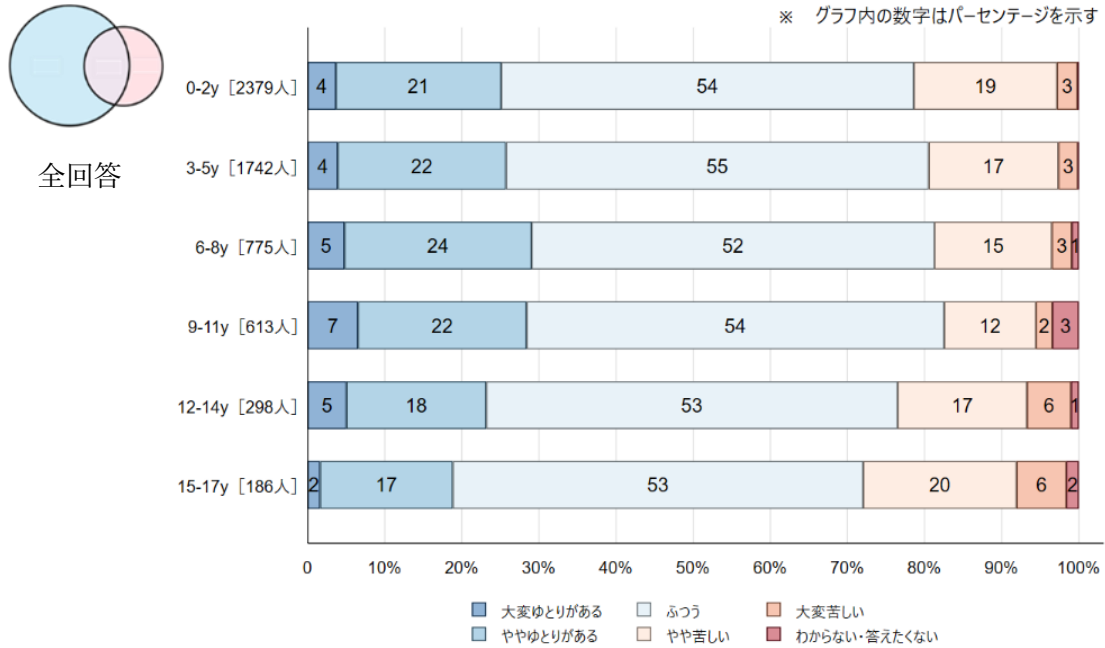


- ・全体の99%から回答が得られ、そのうち61%が関東地方在住であった。

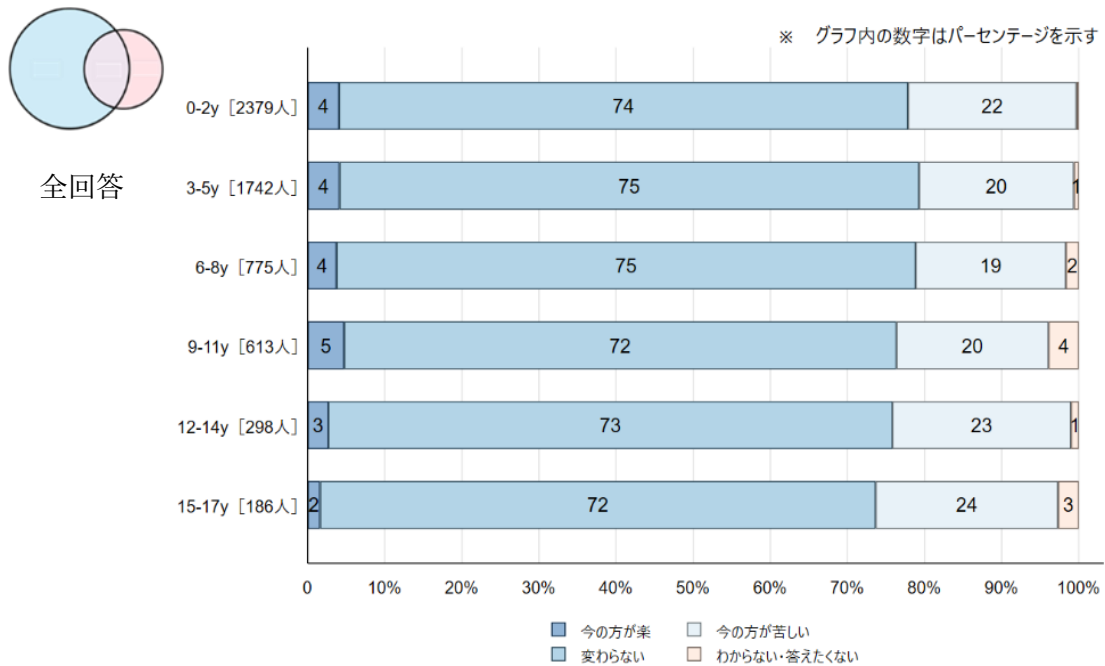
家庭の状況

経済状況

現在のあなたの家庭の暮らし（経済状況）について、1番近いものはどれですか？



あなたの家庭の暮らし（経済状況）は、2020年1月時点と比べて、どうですか？



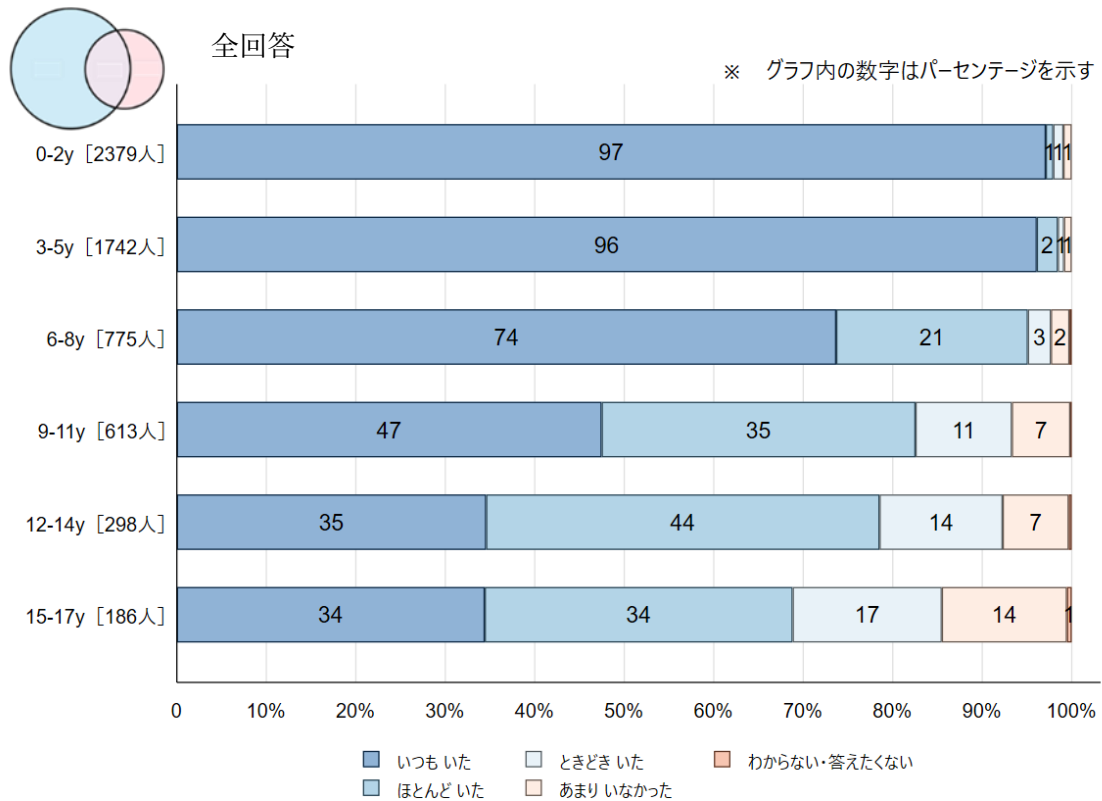
- ・「やや苦しい」「大変苦しい」は全体の20%であった。
- ・「(2020年1月時点と比較して) 今の方が苦しい」が全体の21%であった。

子どもたちの生活の状況

子ども在宅時のおとなの在宅状況

子ども この1週間、あなたが家にいるとき、だれかおとなも家にいましたか？

保護者 この1週間、お子さまが家にいるとき、だれかおとなも家にいましたか？



- ・未就学児で98%、小学低学年で95%が「いつもいた」「ほとんどいた」と回答した。
- ・小学高学年以上では、「ときどきいた」「あまりいなかった」が2~3割程度であった。

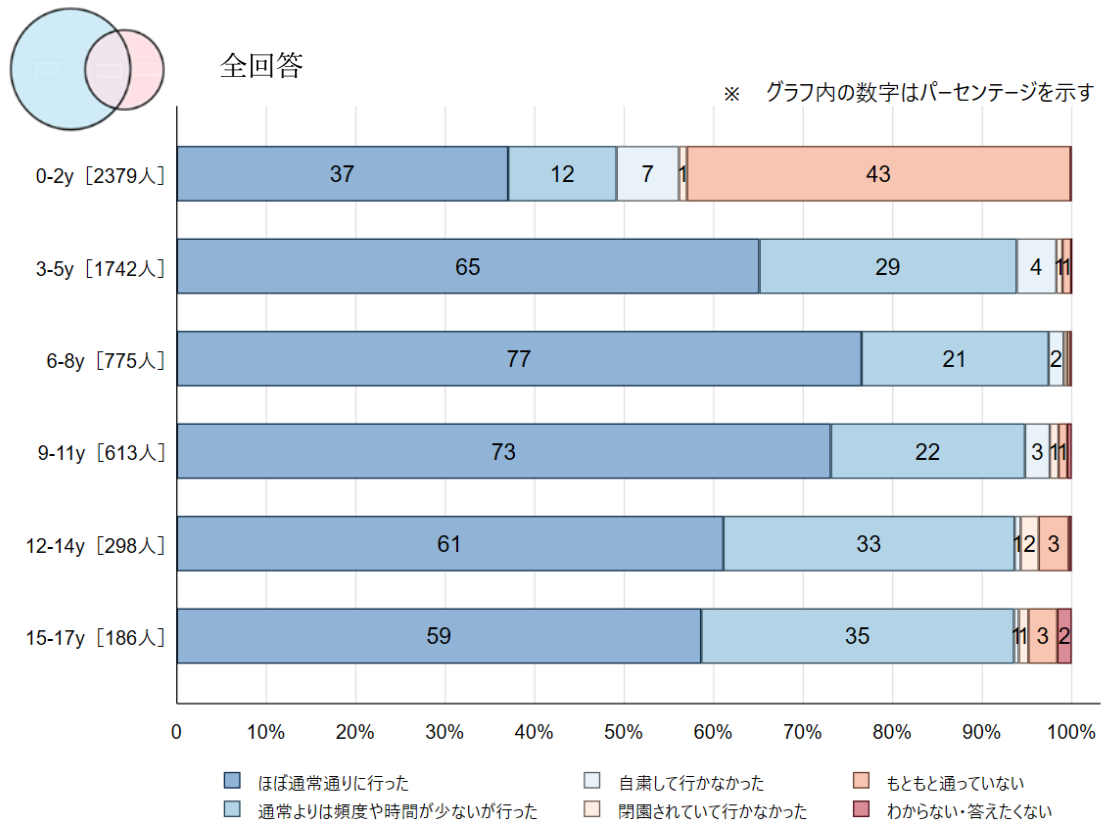
登校・登園の状況

(お子さまが未就学児の場合)

この1週間のあいだ、お子さまは保育園・託児所や幼稚園に行きましたか。もっともあてはまるものを選んでください。

(おこさまが小学生以上の場合)

この1週間のあいだ、お子さまは学校に行きましたか。もっとも当てはまるものを選んでください。



・3歳児以上では6～8割が「ほぼ通常通りにいった」と回答した。

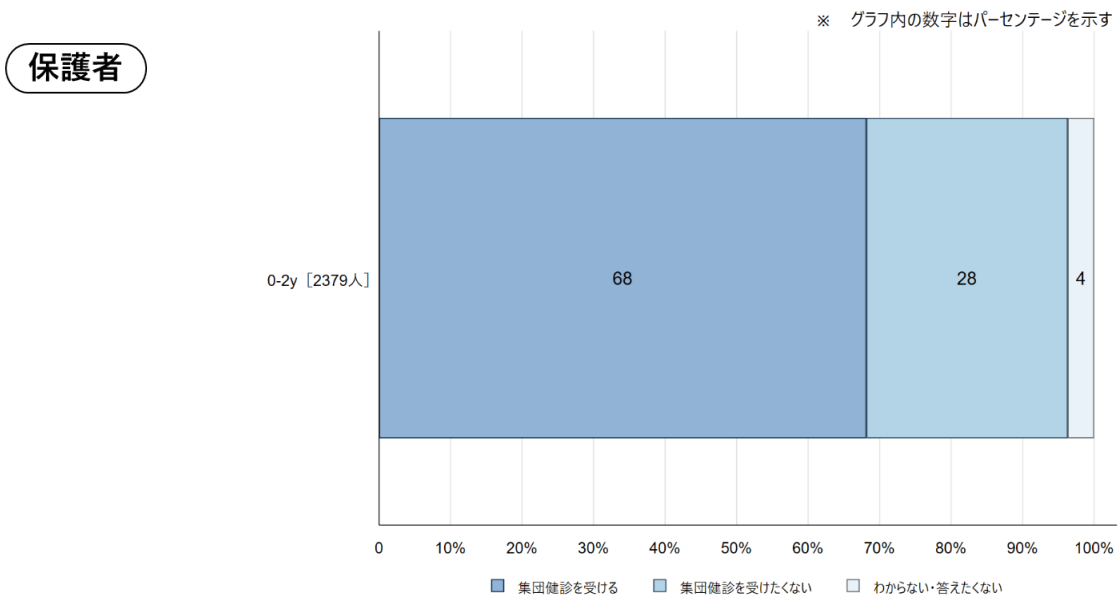
医療関連

乳幼児健診に関する意識

各項目に対して「受ける,受けたくない,わからない・答えたくない」で回答。(0~2歳児)

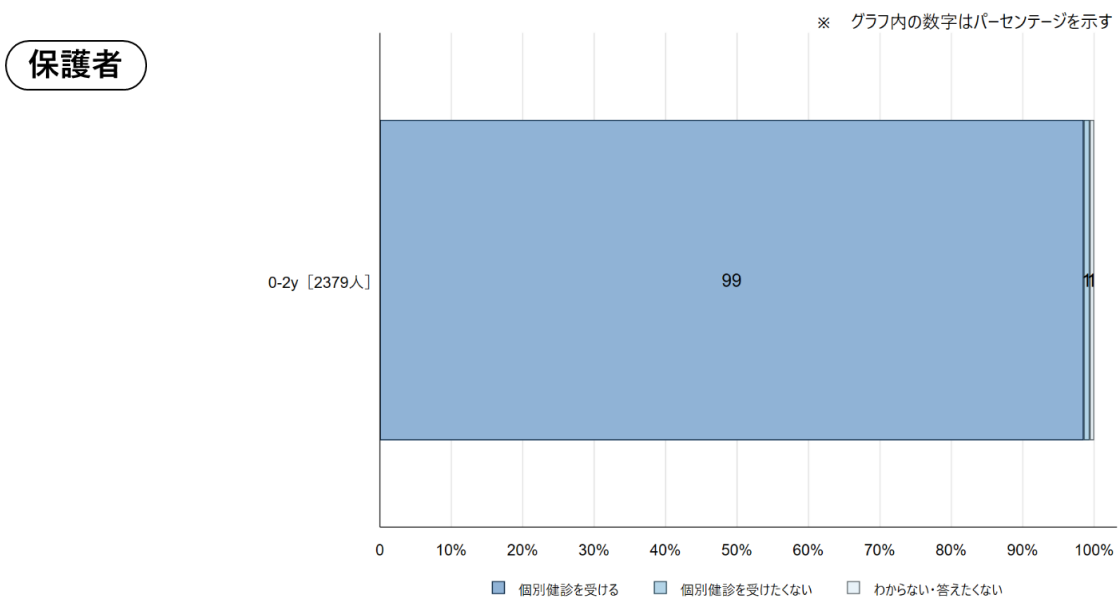
【集団健診について】

あなたのお子さまに、集団健診の案内が届きました。会場では感染予防策を実施しているそうです。あなたなら…



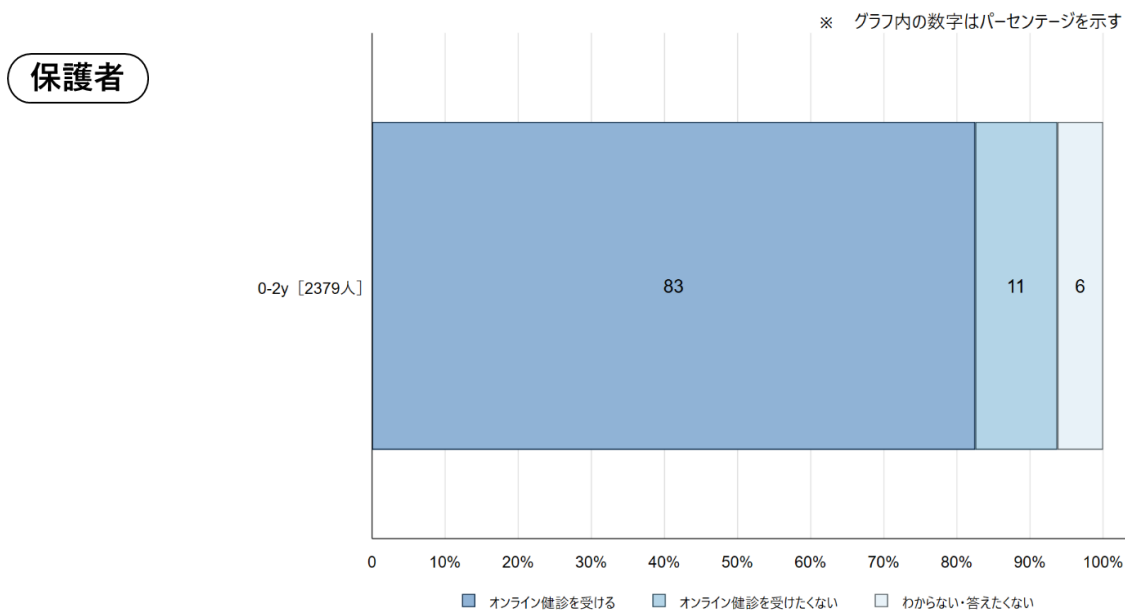
【個別健診について】

あなたのお子さまに、個別健診（かかりつけ医での健診）の案内が届きました。かかりつけ医では感染予防策を実施しているそうです。あなたなら…



【オンライン健診について】

あなたのお子さまに、オンライン健診の案内が届きました。スマホなどのビデオ越しにこどもの様子を見てもらったり相談したりできるそうです。あなたなら…

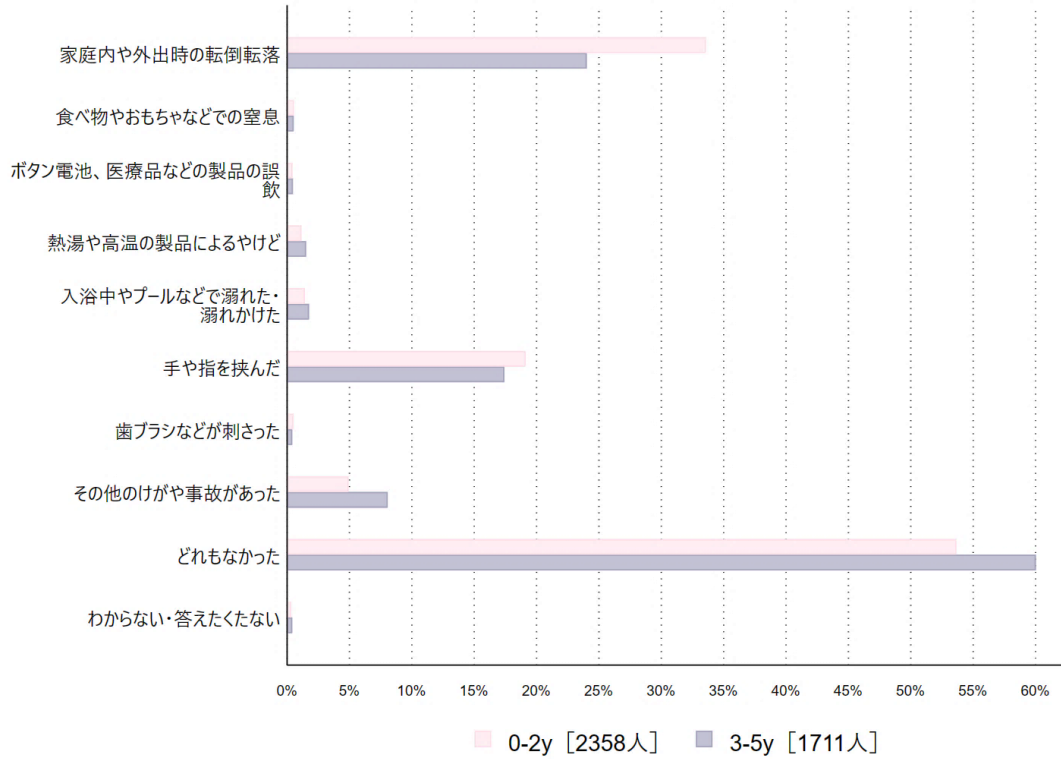


- ・【集団健診について】全体 28%の保護者が（感染予防が実施されていても）集団健診を受けたくないと回答した。
- ・【個別健診について】全体の 99%が受けると回答した。
- ・【オンライン健診について】全体の 83%が受けると回答した。

家庭内での事故

この3ヶ月間に、お子さまやごきょうだいに 次のような事故はありましたか？ 次の中で、あてはまるものをすべて選んでください。(未就学児)

保護者



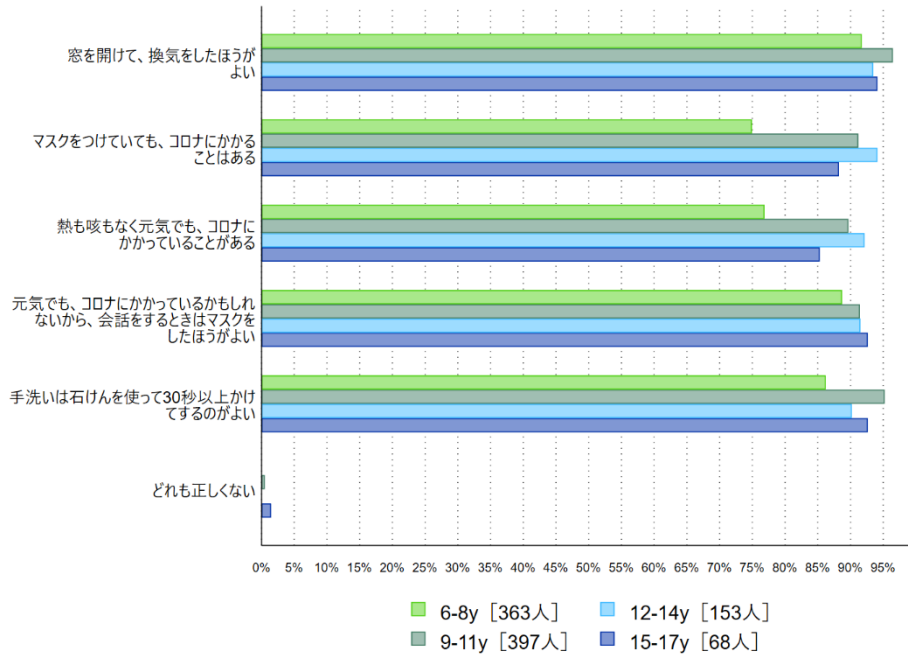
- ・「どれもなかった」が最多で全体の半数強を占めた。
- ・「家庭内や外出時の転倒転落」、次いで「手や指を挟んだ」の回答が多かった。

新型コロナウイルス（コロナ）に関する知識・意識・交友関係

知識

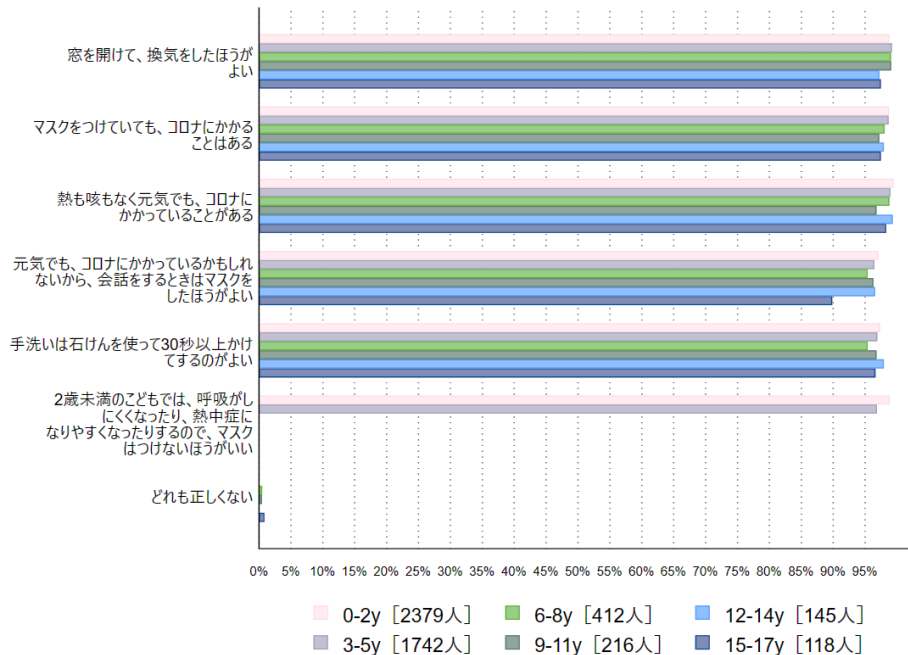
子ども

次の中で、あっていると 思うものを 全部 えらんで ください。



保護者

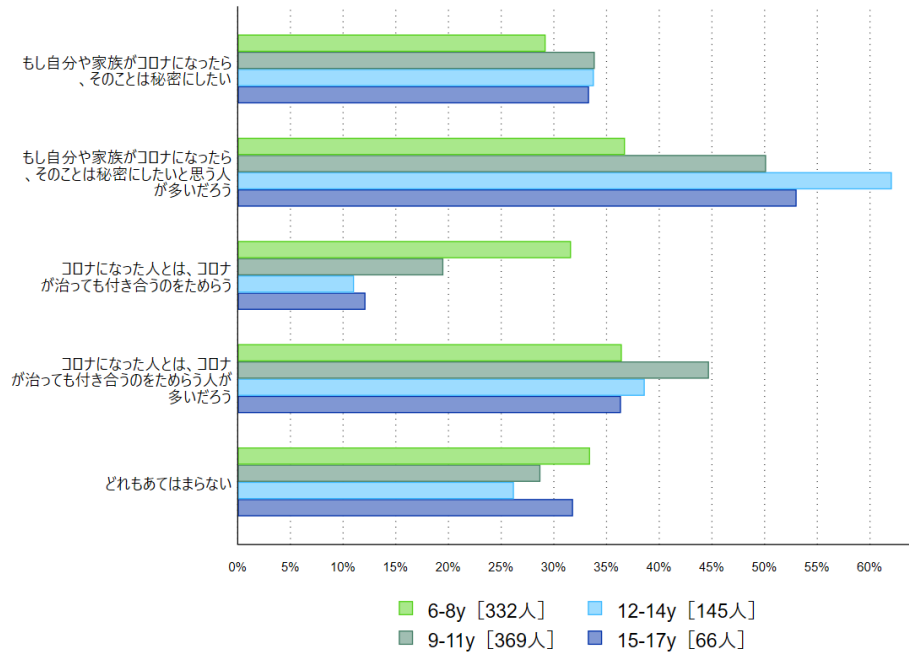
次の中で、正しいと思うものをすべて選んでください。



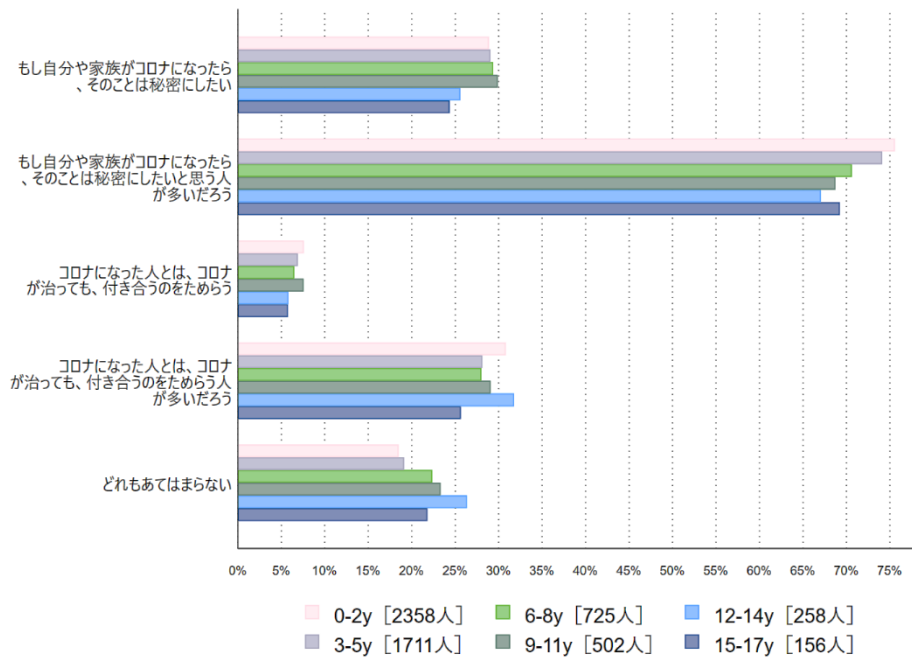
・小学低学年で「マスクをつけていても、コロナにかかることはある」「熱も咳もなく元気でも、コロナにかかっていることがある」ことを知っていたのは8割弱であった。

意識（スティグマ）

こども あなたの考えにあてはまるものをすべて選んでください。



保護者 あなたの考えにあてはまるものをすべて選んでください。



・こどもの32%が「もし自分や家族がコロナになったら、そのことは秘密にしたい」、47%が「もし自分や家族がコロナになったら、そのことは秘密にしたいと思う人が多いだろう」、22%が「コロナになった人とは、コロナが治っても付き合うのをためらう（あまり一緒には

遊びたくない)」、40%が「コロナになった人とは、コロナが治っても付き合うのをためらう（あまり一緒には遊びたくない）人が多いだろう」と回答した。

・一方、保護者では、29%が「もし自分や家族がコロナになったら、そのことは秘密にしたい」、73%が「もし自分や家族がコロナになったら、そのことは秘密にしたいと思う人が多いだろう」、7%が「コロナになった人とは、コロナが治っても付き合うのをためらう（あまり一緒には遊びたくない)」、29%が「コロナになった人とは、コロナが治っても付き合うのをためらう人が多いだろう」と回答した。

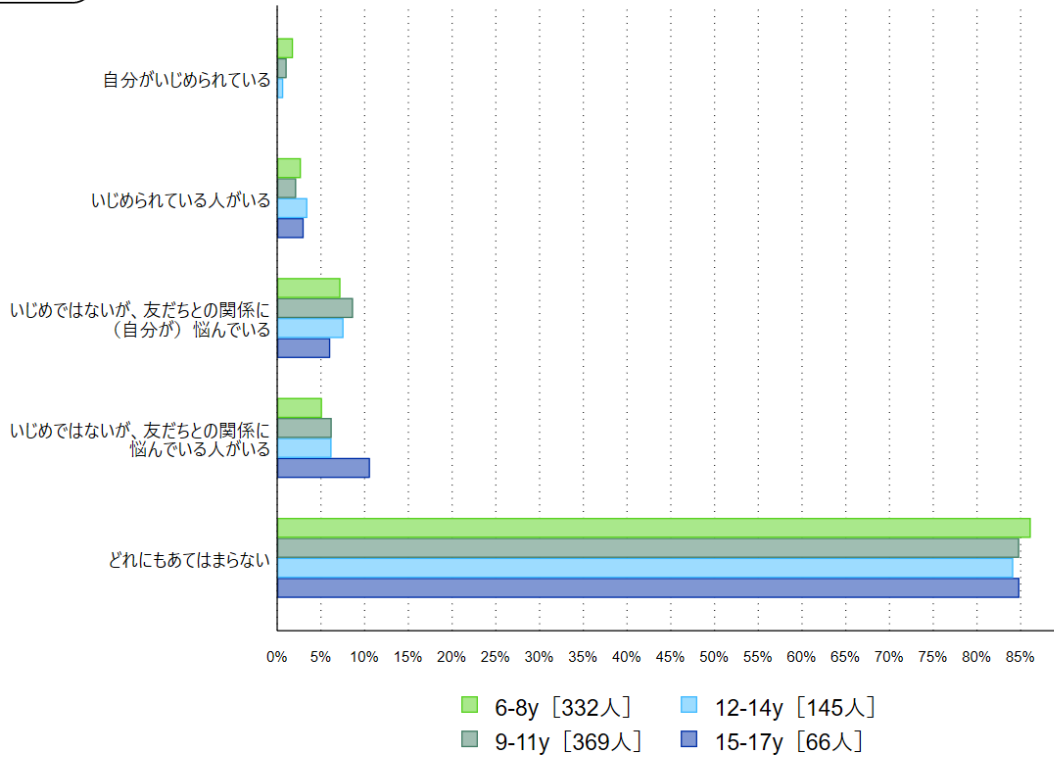
※この設問の後には、こども・保護者ともに下の4コマ漫画を読んでいただいた。



交友関係の問題

あなたの周りで、コロナに関係がある いじめやトラブルは ありますか？あてはまるものを すべて 選んでください。

子ども



・1%が「自分がいじめられている」、3%が「いじめられている人がいる」、8%が「いじめではないが、友だちとの関係に (自分が) 悩んでいる」、6%が「いじめではないが、友達との関係に悩んでいる人がいる」と回答した。

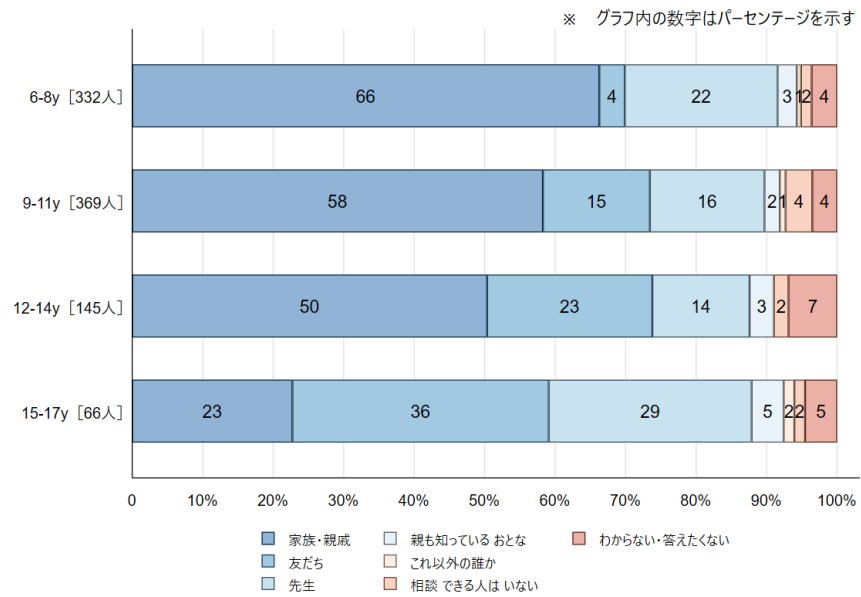
子どもたちが相談できる相手

ここでは、すべて **子ども** の回答を集計した。

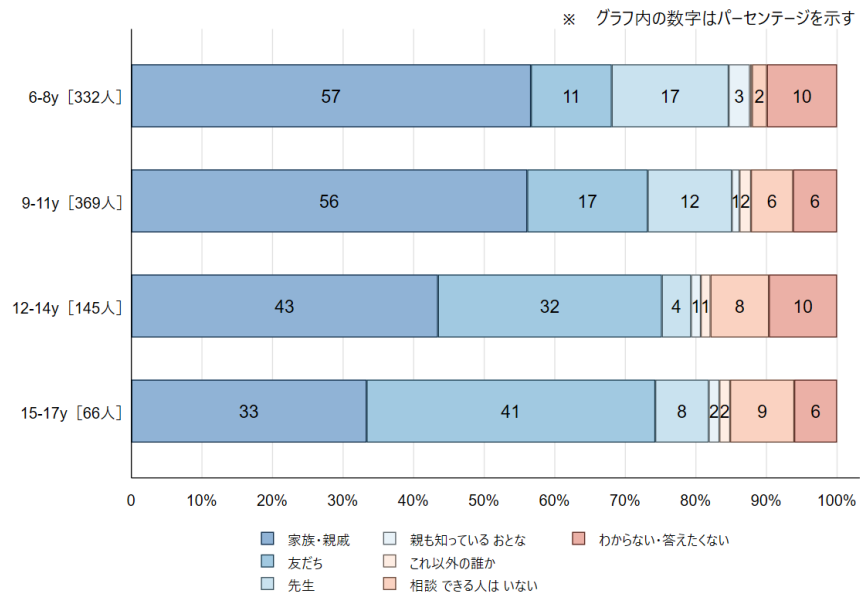
相談できる人

次のことについて、あなたが こまったときに今1番相談できる人はだれですか？

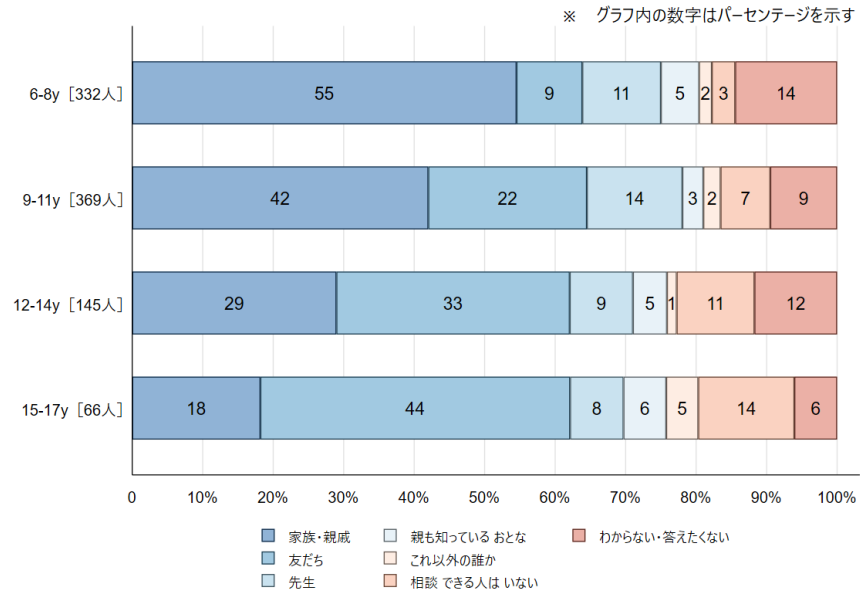
(1)勉強のこと



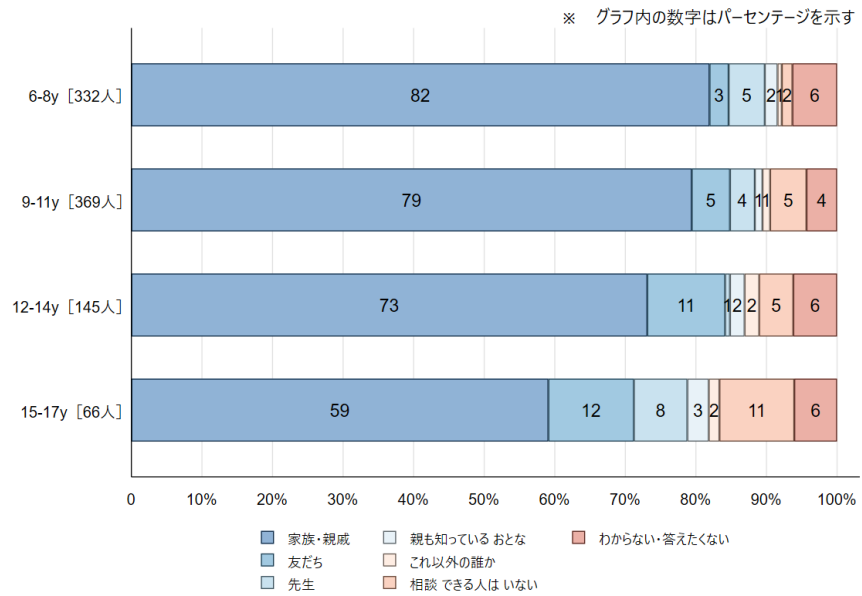
(2)友だち関係のこと



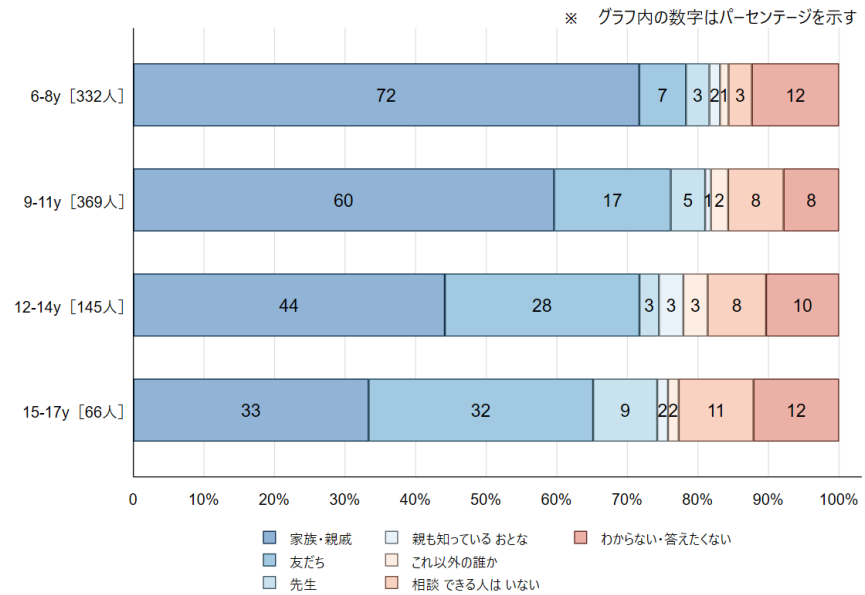
(3)家族のこと



(4)自分の体や健康のこと



(5)自分の心・気持ちのこと



・「友だち関係のこと」については、小学高学年の6%、中学生の8%が「相談できる人はいない」と回答した。

・「家族のこと」については、小学高学年の7%、中学生の11%が「相談できる人はいない」と回答した。

・「自分の心・気持ちのこと」については、小学高学年・中学生ともに8%が「相談できる人はいない」と回答した。

・高学年になるほど、1番相談できる人が「家族・親戚」と回答する割合が少なかった。

こどもたちの健康と生活の質（QOL）

0~2 歳児の健康状態

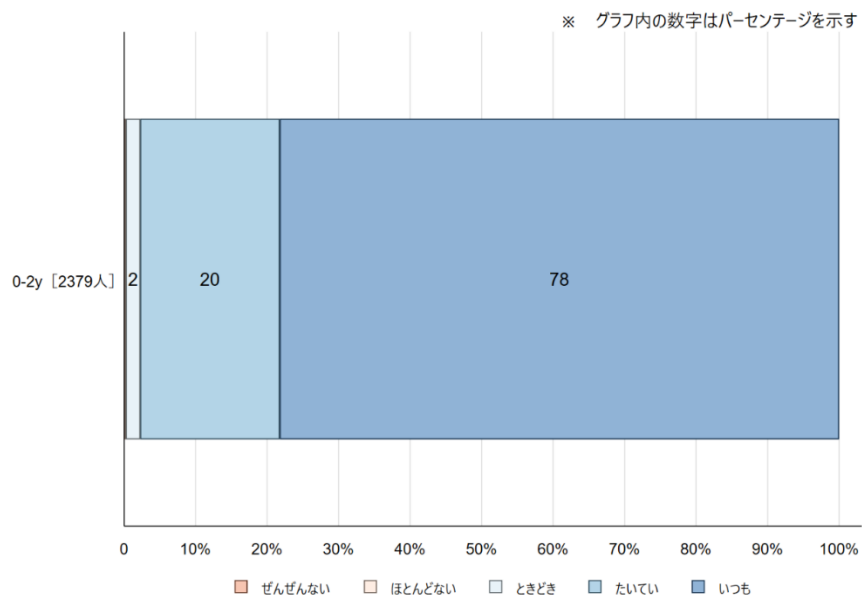
0~2 歳児の健康状態については、すべて **保護者** による回答より集計した。

全般的な健康状態

この1週間のお子さまの状態に、もっとも当てはまるものを選んでください。

[ぜんぜんない,ほとんどない,ときどき,たいてい,いつも]

概して 健康である



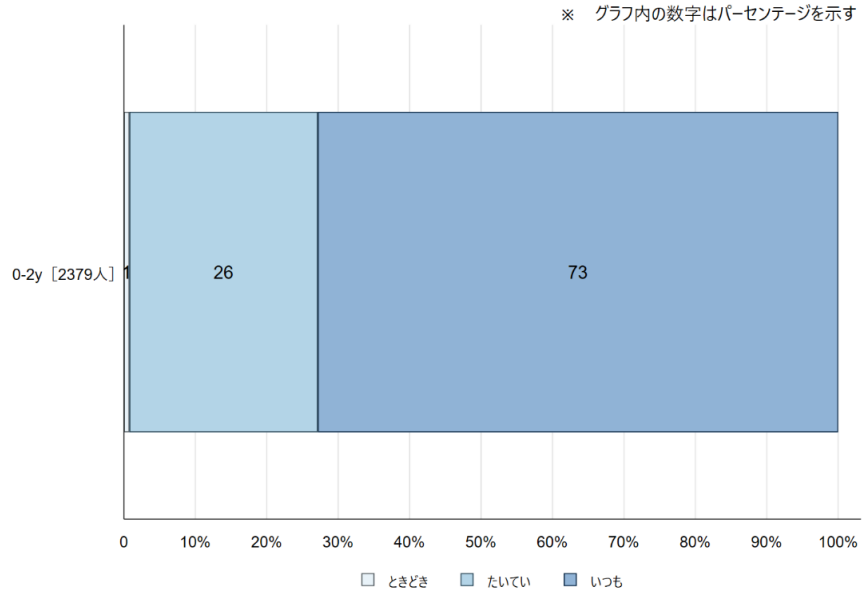
・全体の98%が「たいてい」「いつも」と回答した。

良いころの状態 (well-being)

この1週間のお子さまの状態に、もっとも当てはまるものを選んでください。

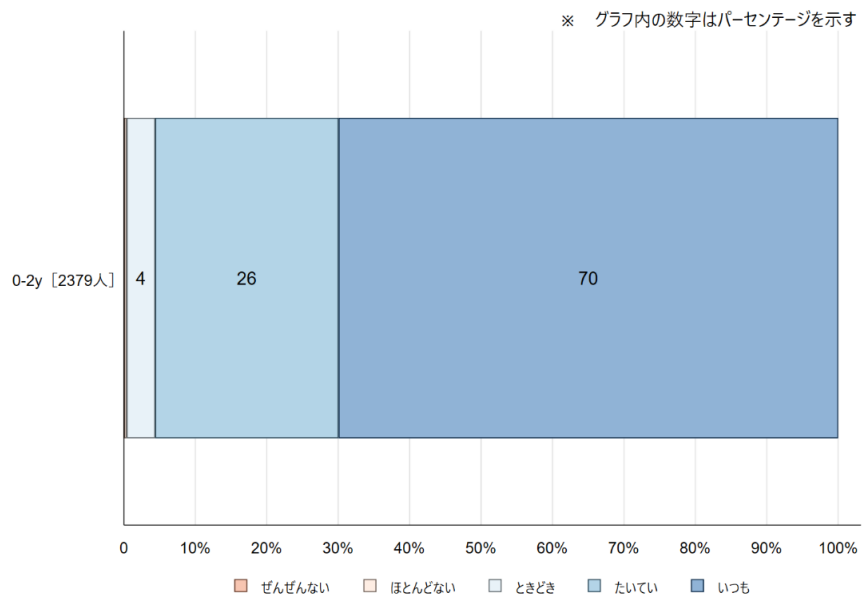
[ぜんぜんない,ほとんどない,ときどき,たいてい,いつも]

親と一緒にいると 嬉しそうだ



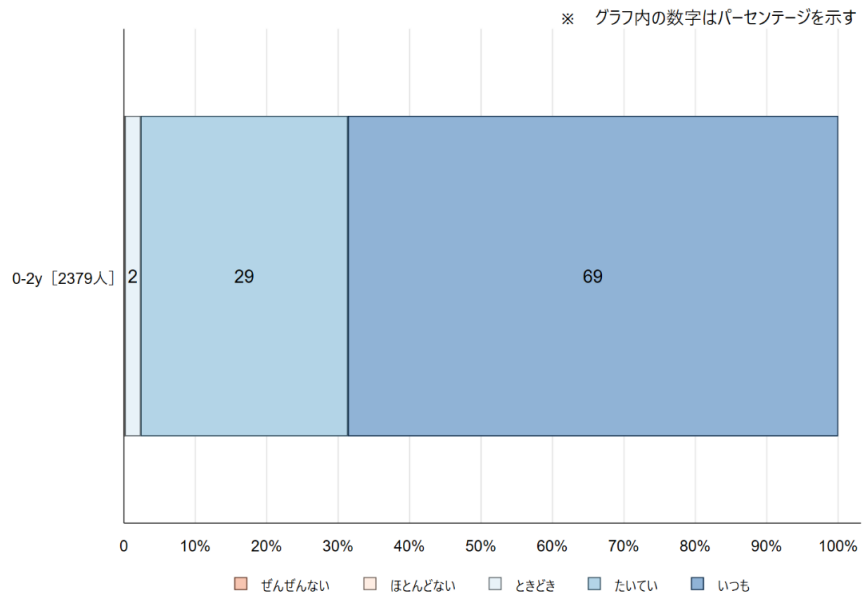
・全体の99%が「たいてい」「いつも」と回答した。

はじめてのことや 新しいことに 興味を示す



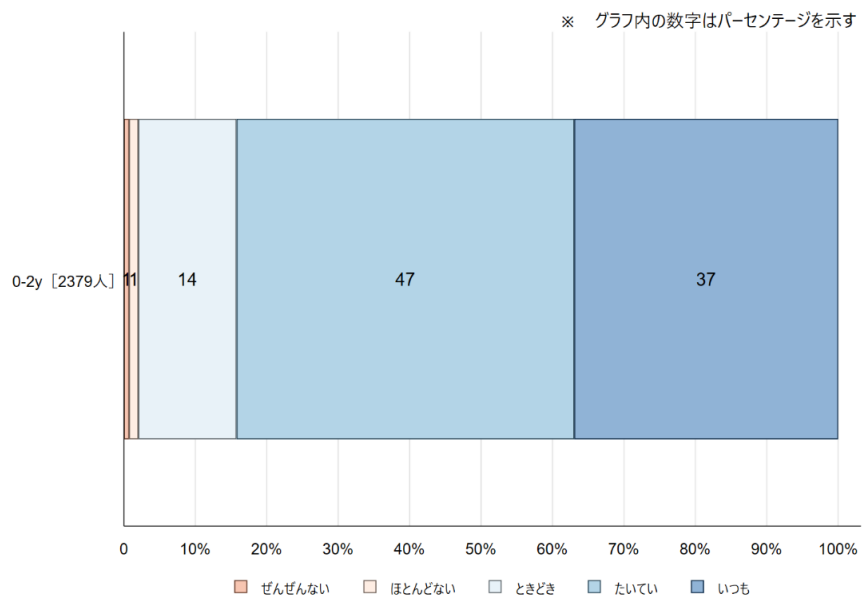
・全体の96%が「たいてい」「いつも」と回答した。

楽しそうによく笑う



・全体の98%が「たいてい」「いつも」と回答した。

思い通りにいかないことがあっても素早く立ち直る



・全体の84%が「たいてい」「いつも」と回答した。

3～17 歳児の生活の質 (QOL)

日本語版「KINDL^R」尺度（小学生版・中学生版・幼児版親用・小中学生版親用）により、
 ・身体的健康 ・精神的健康 ・自尊感情 ・友達
 の4領域（3～5歳は「友達」を除く3領域）について、子どもたちのQOLを測定した。

各4項目ずつ、計16項目に対して、この1週間の状態を

[ぜんぜんない, ほとんどない, ときどき, たいてい, いつも]

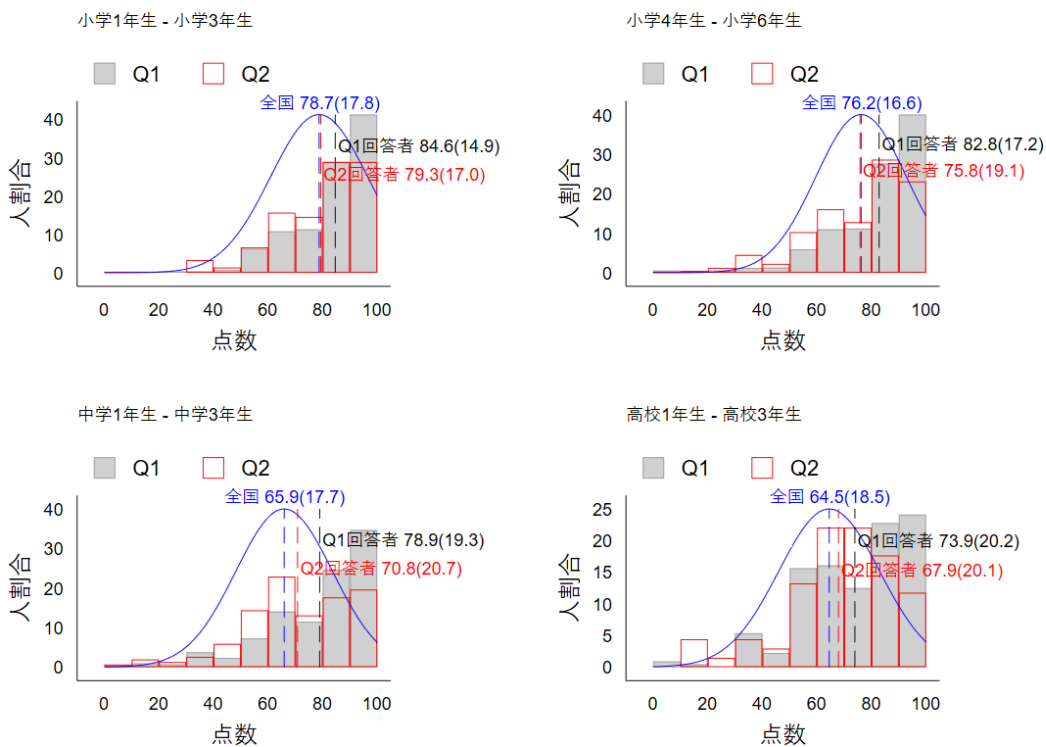
の5段階で回答してもらい、各領域0～100点で換算している。

(高得点ほどその領域のQOLが高いことを意味する。)

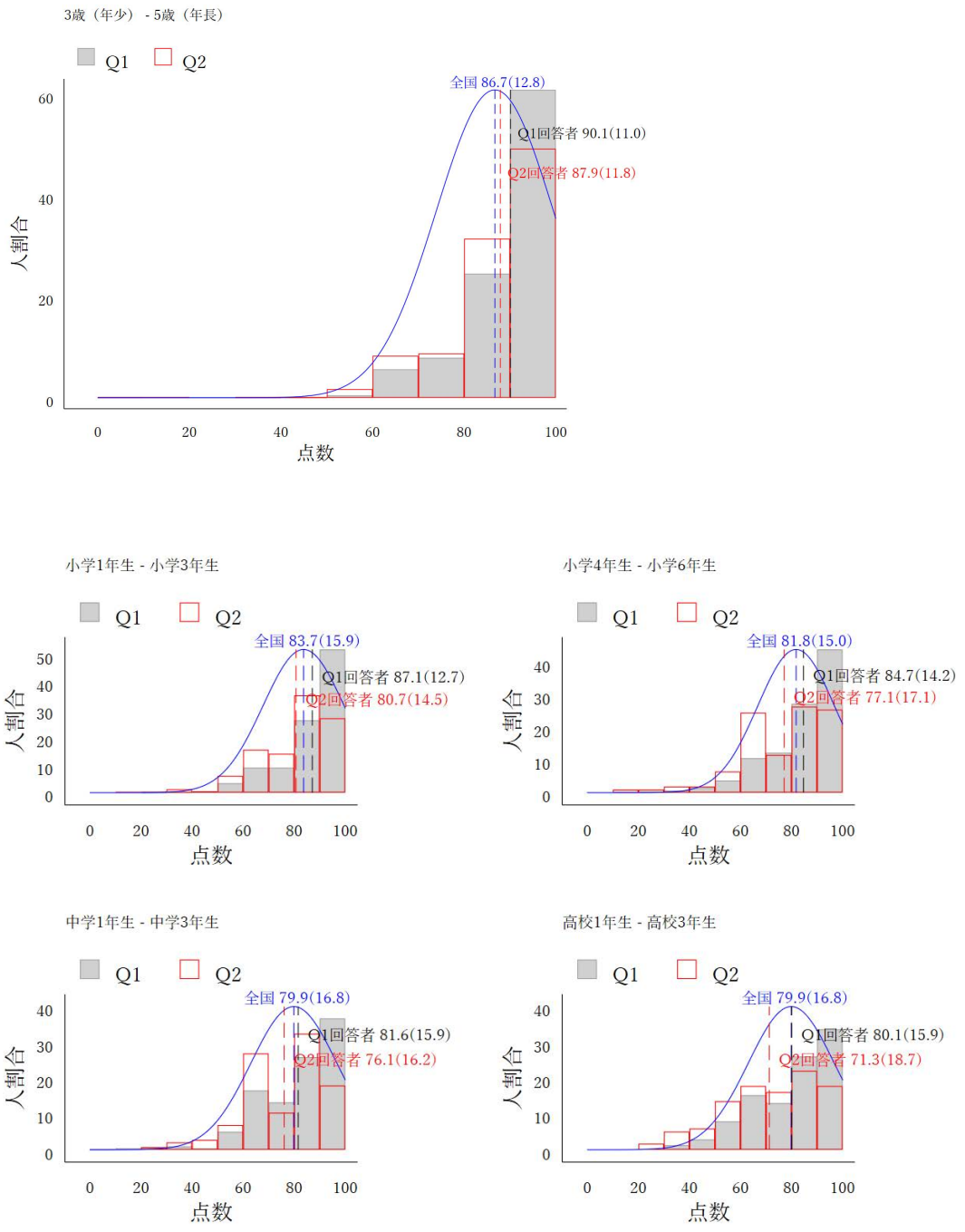
身体的健康、精神的健康、自尊感情については、第1回調査のグラフを重ねて表示した。
 灰色は第1回(Q1)、赤色は第2回(Q2)の回答者の得点分布・平均点(破線)を表す。
 青色破線は標準(2014年時全国標準)の平均点、青色曲線は標準の平均点と標準偏差を
 もとに正規分布を仮定して描いた参考分布を表している。
 グラフ内の数字は「平均点(標準偏差)」を表示している。

身体的健康

子ども



保護者

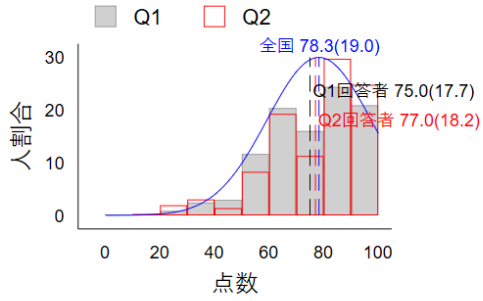


- ・身体的健康は、こどもの回答・保護者の回答いずれも、すべての年齢群で、第1回調査結果よりも QOL の平均点が低くなっていた。
- ・保護者回答では小学生以上のすべての年齢群で、2014 年時の全国標準よりも QOL の平均点が低くなっていた。

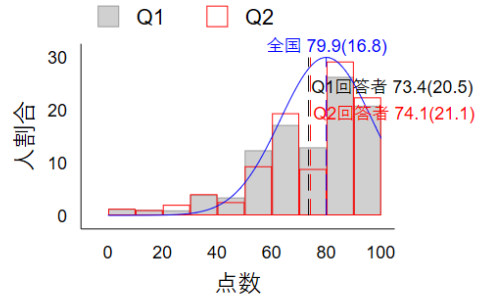
精神的健康

こども

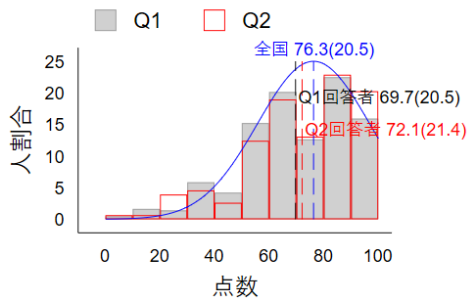
小学1年生 - 小学3年生



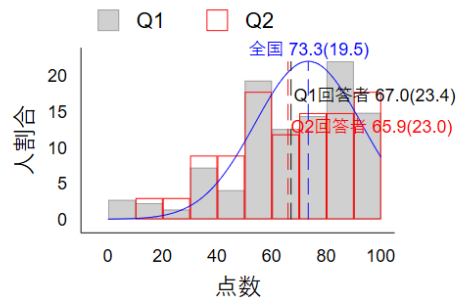
小学4年生 - 小学6年生



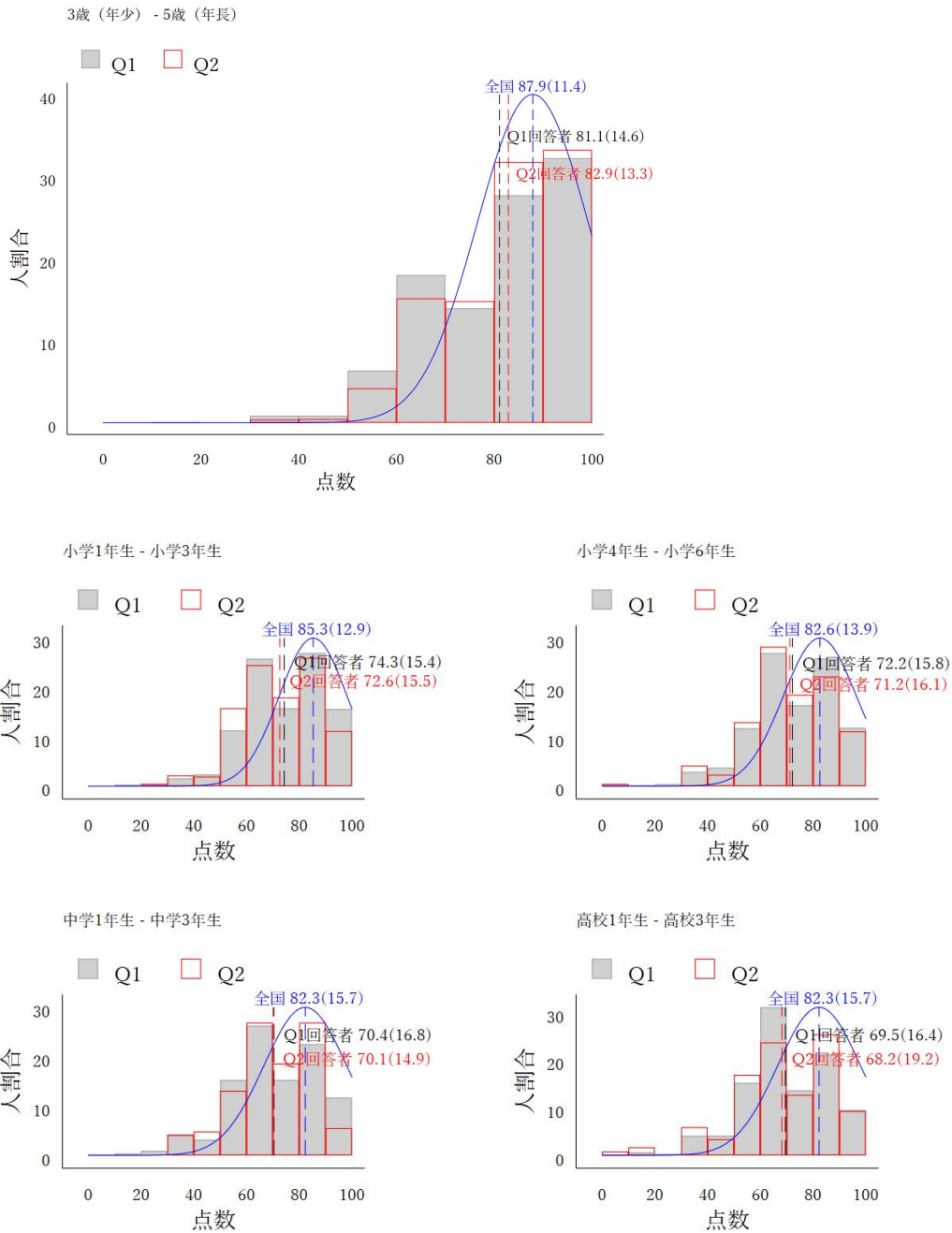
中学1年生 - 中学3年生



高校1年生 - 高校3年生



保護者

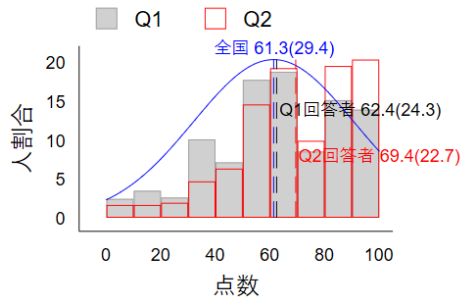


- ・精神的健康は、こども回答では、小中学生では第1回調査結果よりQOLが高く、高校生ではやや低くなっていた。
- ・保護者の回答では、小学生以上のすべての年齢群で、第1回調査結果とほぼ同等かやや低くなっていた。

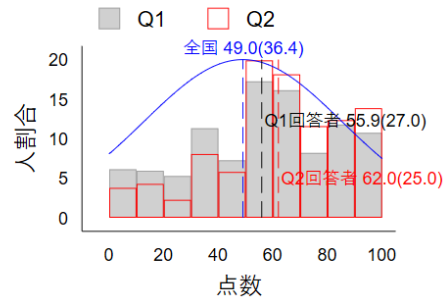
自尊感情

こども

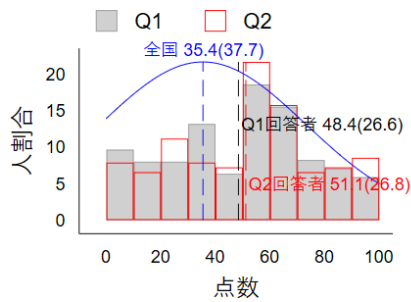
小学1年生 - 小学3年生



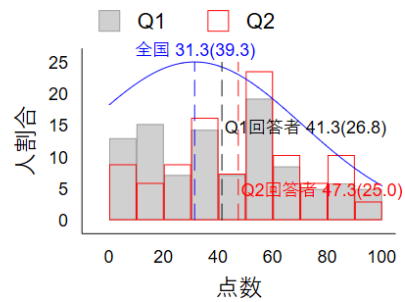
小学4年生 - 小学6年生



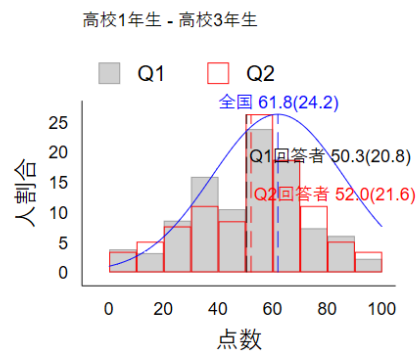
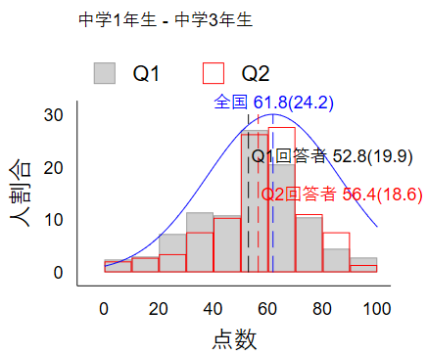
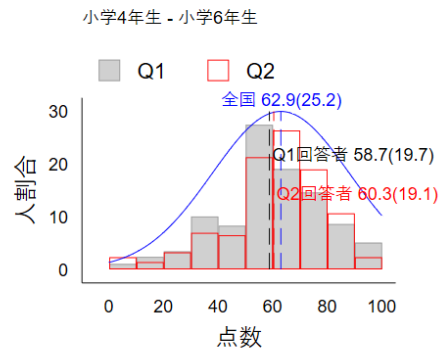
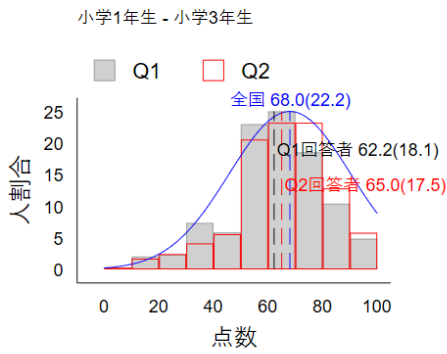
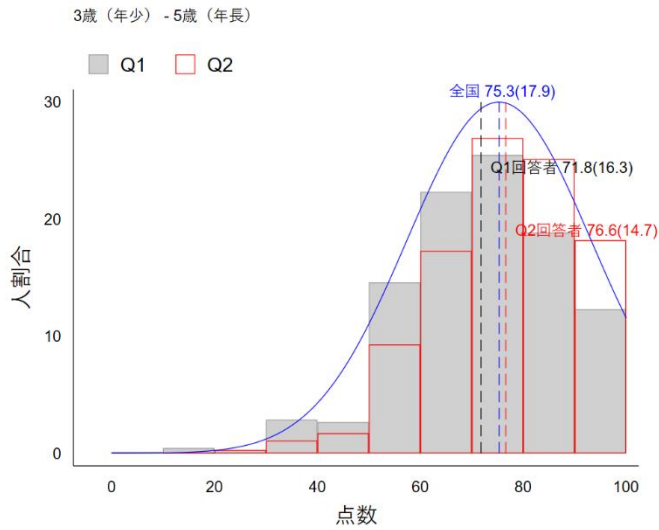
中学1年生 - 中学3年生



高校1年生 - 高校3年生



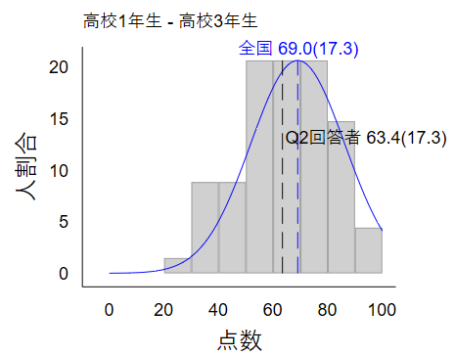
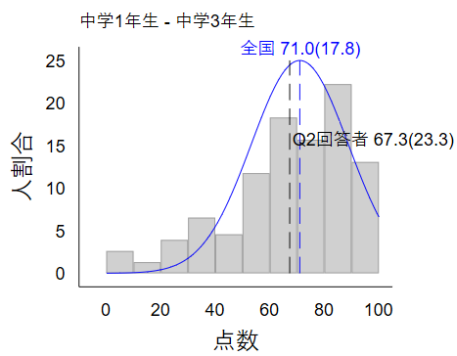
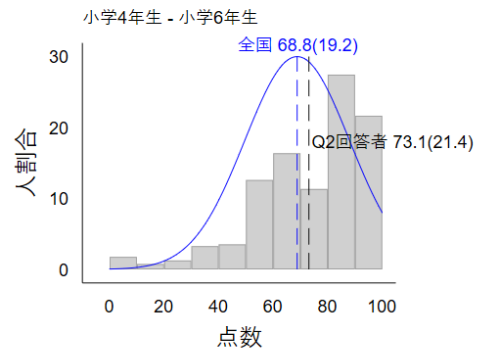
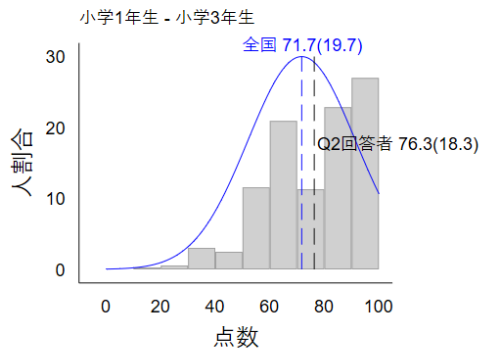
保護者



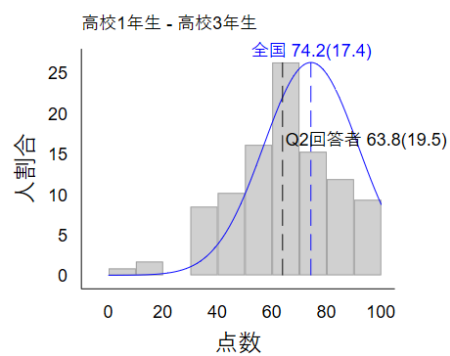
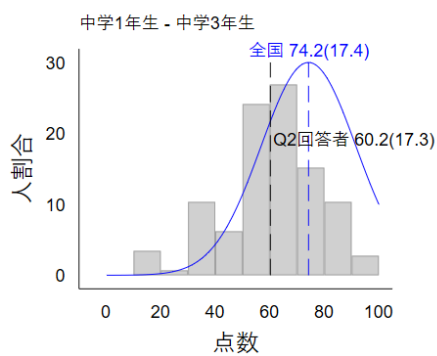
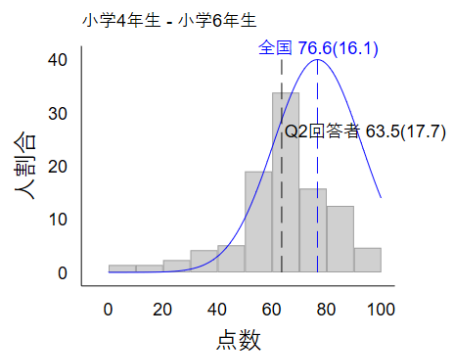
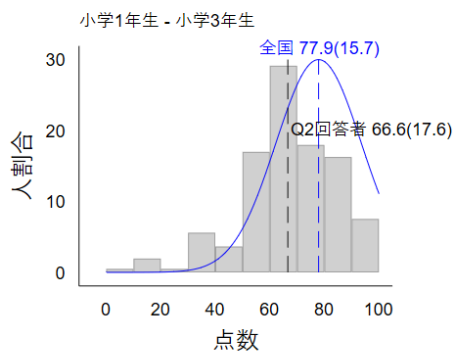
・自尊心については、こどもの回答・保護者の回答いずれも、全年齢群で第1回調査結果よりQOLが高くなっていた。

友達

こども



保護者



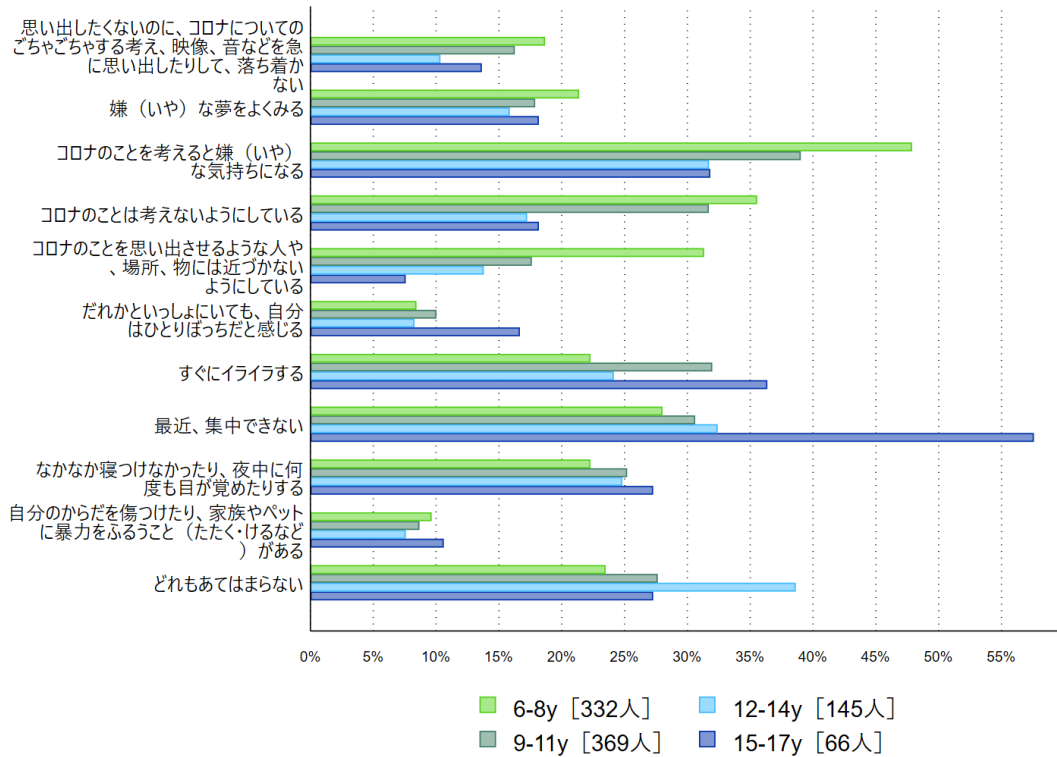
・友達については、小学生の子ども回答では2014年時点全国標準より高いQOLを示したが、中学生以上の子ども回答および全年齢群の保護者回答では低い結果であった。

ストレス反応

症状

あなたに あてはまり、今も 困っていることを 全部 選んでください。

子ども



- ・全体の72%に、何らかのストレス反応・症状がみられた。
- ・小学生では低学年/高学年ともに「コロナのことを考えると嫌な気持ちになるが」が、中学生・高校生では「最近、集中できない」が最多だった。

上の選択式（複数回答可）の質問の次に、自由記載で下記を尋ねた。

ほかにも こまっていることが あれば おしえてください。

記載された内容をカテゴリー別にまとめて抽出し、以下に記述する。

こども

【体調】

- ・マスクのせいで熱中症になった 死ぬかと思った（小学高学年男児/東京）
- ・すぐ熱出る（小学高学年女児/和歌山）
- ・最近寝れない（小学高学年女児/福島）

【気持ち】

- ・コロナのことを考えると寝ながら少し泣いてしまう（小学低学年男児/山口）
- ・死にたくなる（小学高学年女児/わからない・答えたくない）
- ・コロナの事を考えたりニュースで見たりするとなんとなくイライラしたりします（中学女児/新潟）
- ・何もできなくてストレスが溜まっている（小学高学年男児/東京）

【社会性・対人面】

- ・新しいクラスで友達ができるのがしんばい（小学中学年男児/神奈川）
- ・せんせいが こわいです ともだちとあそぶとおこられます。（小学低学年女児/富山）
- ・ともだちがほしいです（中学女児/福岡）
- ・家族とあまりうまくいっていない（中学女児/神奈川）
- ・ともだちにたたかれる（小学低学年男児/宮崎）

【学校】

- ・学校がコロナ対策をしてくれない。（中学男児/鹿児島）
- ・学校は再開されたけれど、マスクで先生が誰かわからなくて、話も聞こえづらくて、困ることがあります。質問したくても、あまり近づいちゃいけないかな？と思って、話が理解できないままになってしまうことがあります。（小学低学年男児/北海道）
- ・きゅうしょくを、もっとたのしく たべたいです。（小学低学年男児/静岡）
- ・自分で進める課題が多すぎて終わらない（高校女児/神奈川）
- ・部活がいつも通りにできない（中学男児/東京）

【不安・恐怖】

- ・外に出た時に、知らない人とすれちがうだけでこわくなる。（小学低学年女児/東京）

- ・かぞくがコロナで死なないか心配、学校に行きたくない（小学低学年女兒/埼玉）
- ・いつまでこの生活が続くのかわからないことが少し不安です。（高校男児/東京）

【登園・登校渋り】

- ・学校に行きたくない（小学高学年男児/兵庫）
- ・学校に行きたいのに行きたくない。（小学高学年女兒/山口）
- ・中学校に、行きたくない。（中学女兒/東京）

【疲れ】

- ・学校の休みが長かったから、行くと疲れる（中学男児/埼玉）
- ・がっこうが一日中あるようになってつかれる。（小学低学年男児/東京）

【集中力・意欲低下】

- ・やる気が出ない 外出が面倒くさい 学校の課題が面倒でやる気にならない
（高校男児/神奈川）
- ・目標がない（高校女兒/神奈川）

【外出】

- ・お出かけできないのがちょっとさみしいです。（小学高学年女兒/東京）
- ・コロナであそびにいけない（小学低学年女兒/東京）

【その他】

- ・コロナをどうやって乗り越えていくか3つの密や手洗い以外の対処法を考えているが、あまり思いつかない（小学低学年男児/東京）
- ・家にいつも親がいる(1人になれない)（小学高学年女兒/埼玉）
- ・マスクがいやだ（小学中学年男児/福岡）

保護者には、各ストレス反応の頻度を下記のように詳しく聞いた。(3歳以上)

3～5歳児の保護者

ここでは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活の変化(休園や外出自粛など)を思い浮かべながら、この1ヶ月間のお子さまの様子について、もっとも当てはまるものを選んでください。

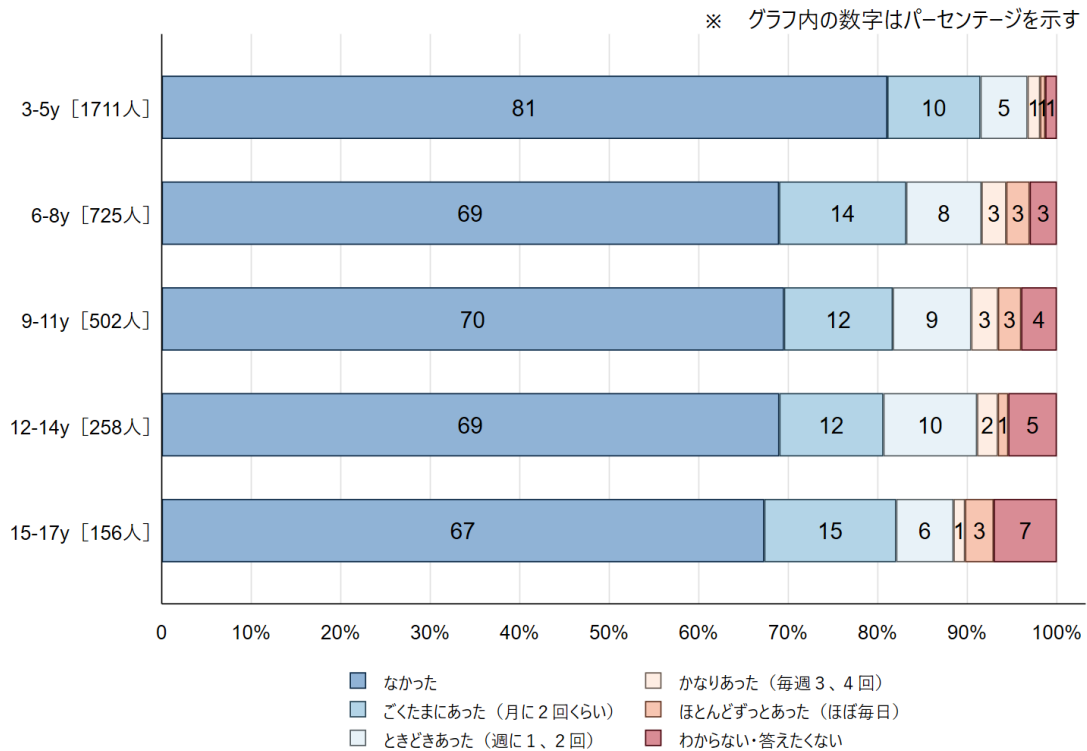
6歳児以上の保護者

この1ヶ月間の、お子さまの様子について、おうかがいします。お子さまの様子に、1番当てはまるものを選んでください。ここでは、新型コロナウイルスのことを単に「コロナ」と表現しています。

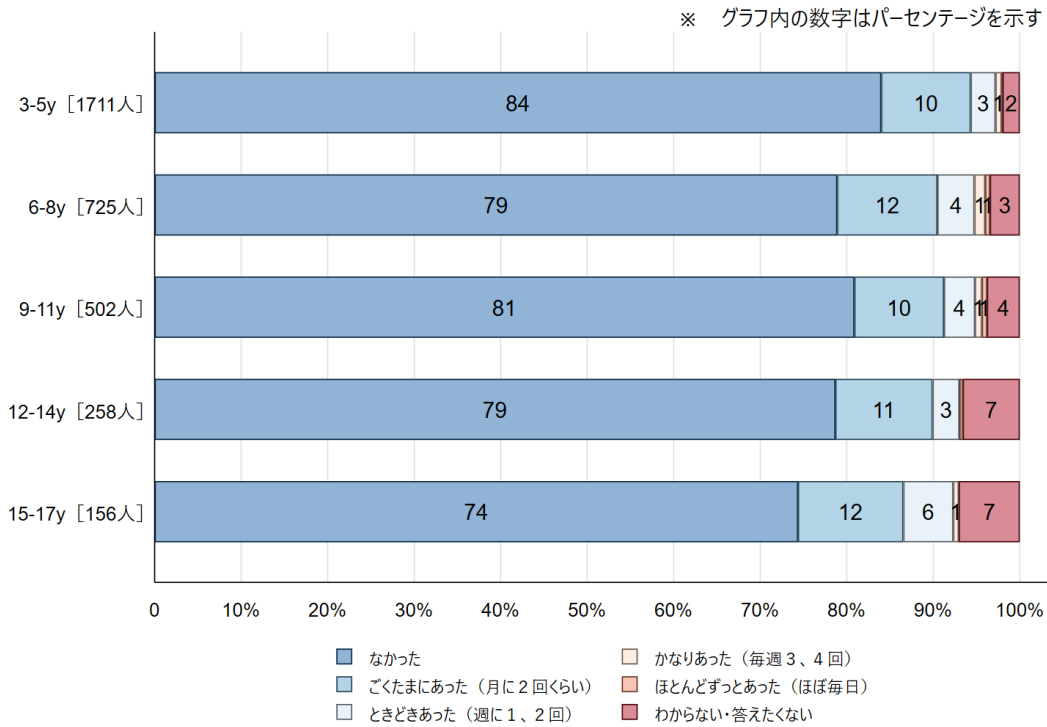
それぞれ、[なかった, ごくたまにあった(月に2回くらい), ときどきあった(週に1、2回), かなりあった(毎週3、4回), ほとんどずっとあった(ほぼ毎日), わからない・答えたくない]

ここでは、すべて **保護者** の回答を集計した。

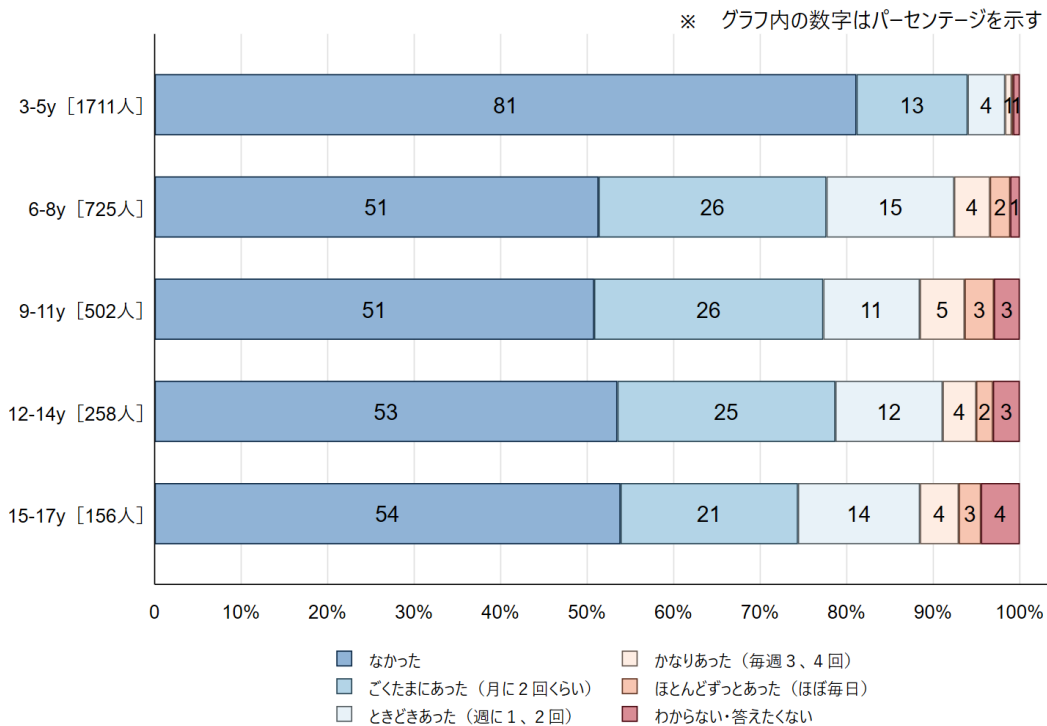
(1) コロナに関連することを思い出したとき、痲癩(かんしゃく)をおこしたり、そのことに関連した遊び(ごっこ遊びなど)に没頭(ぼっとう)したりすることがある



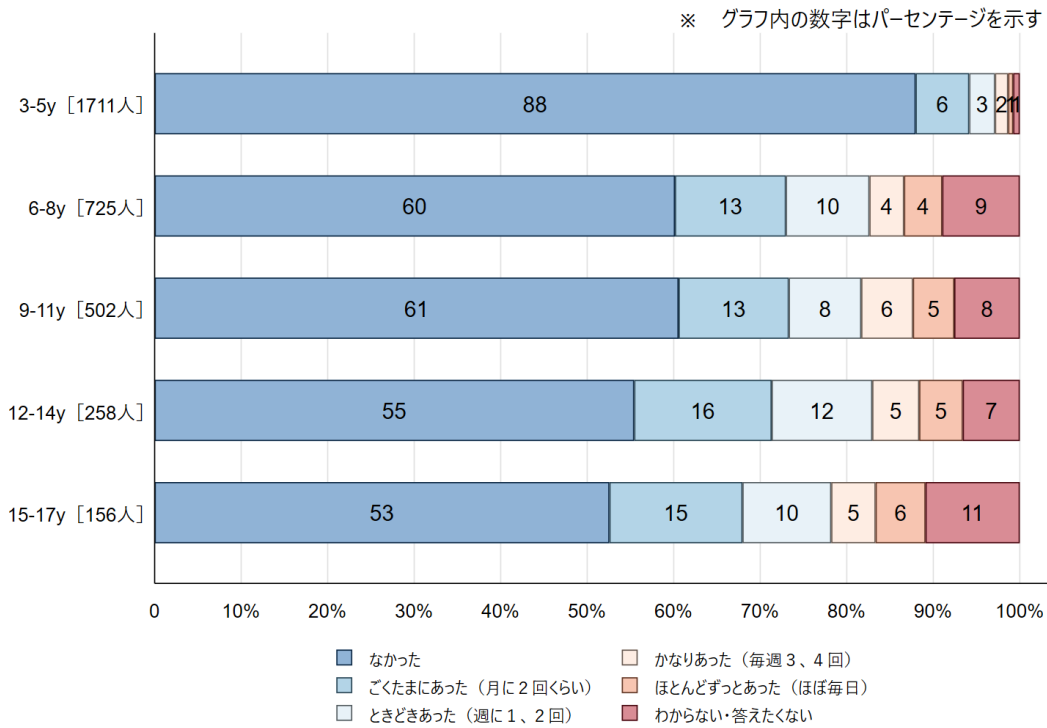
(2) コロナに関連する悪夢や、そのほかの悪夢をみているようだ



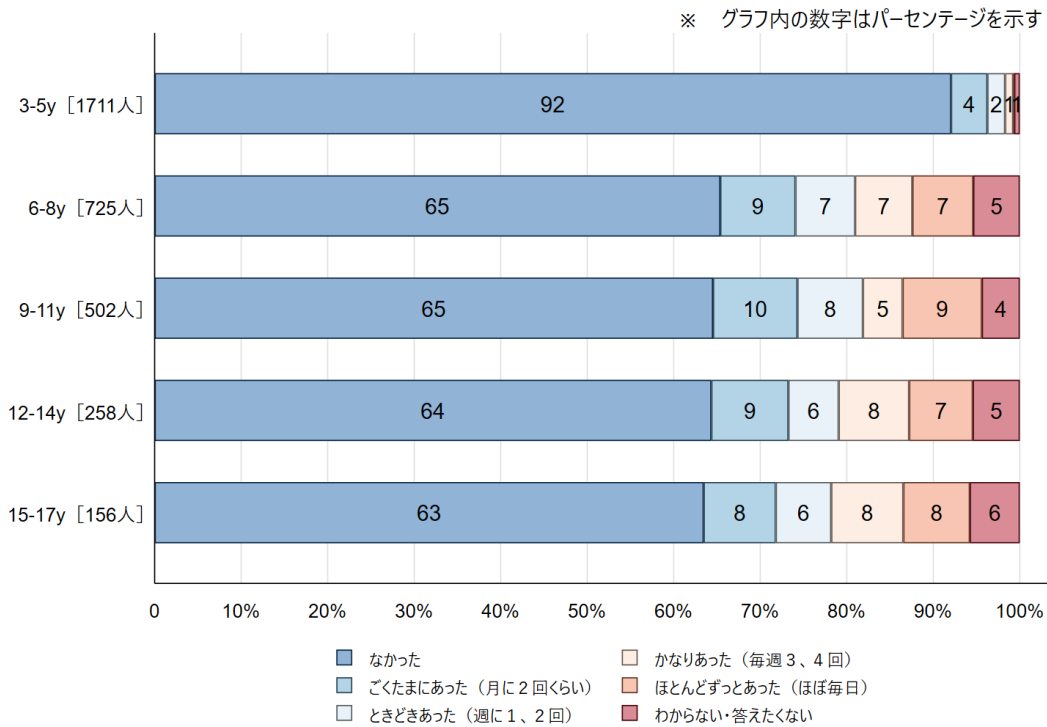
(3) コロナに関連すること (生活の変化など) を思い出したとき、すごく嫌な気持ちになったり、怖くなったり、悲しくなったりしているようだ (急に泣き出す、陰に隠れてしまう、など)



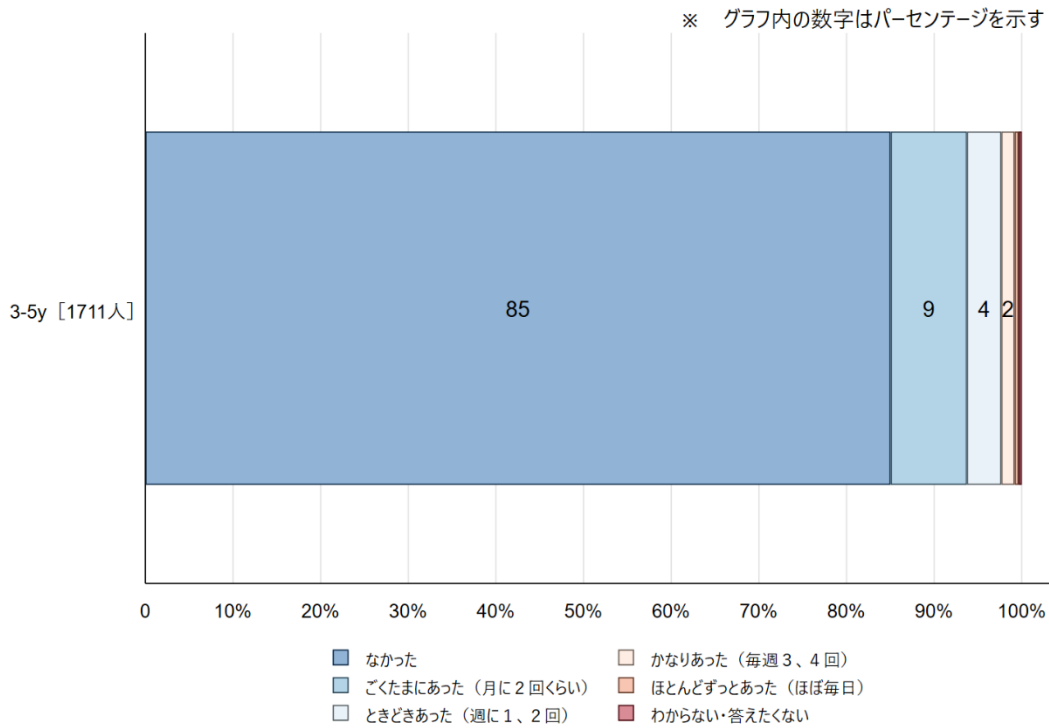
(4) コロナに関連することを思い出させる場所や活動を嫌がり、避けようとする（そのことに関連したテレビの映像を避けようとする、など）



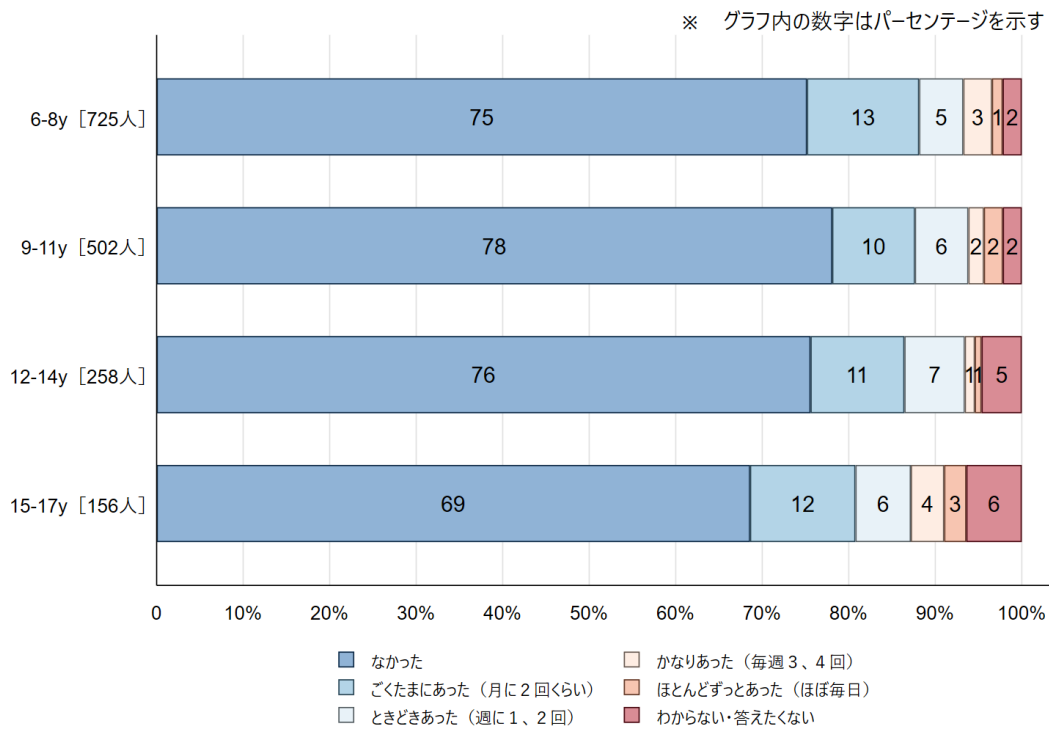
(5) コロナに関連することを思い出させる会話や、思い出させる人と会うことを嫌がり、できるだけ避けようとする



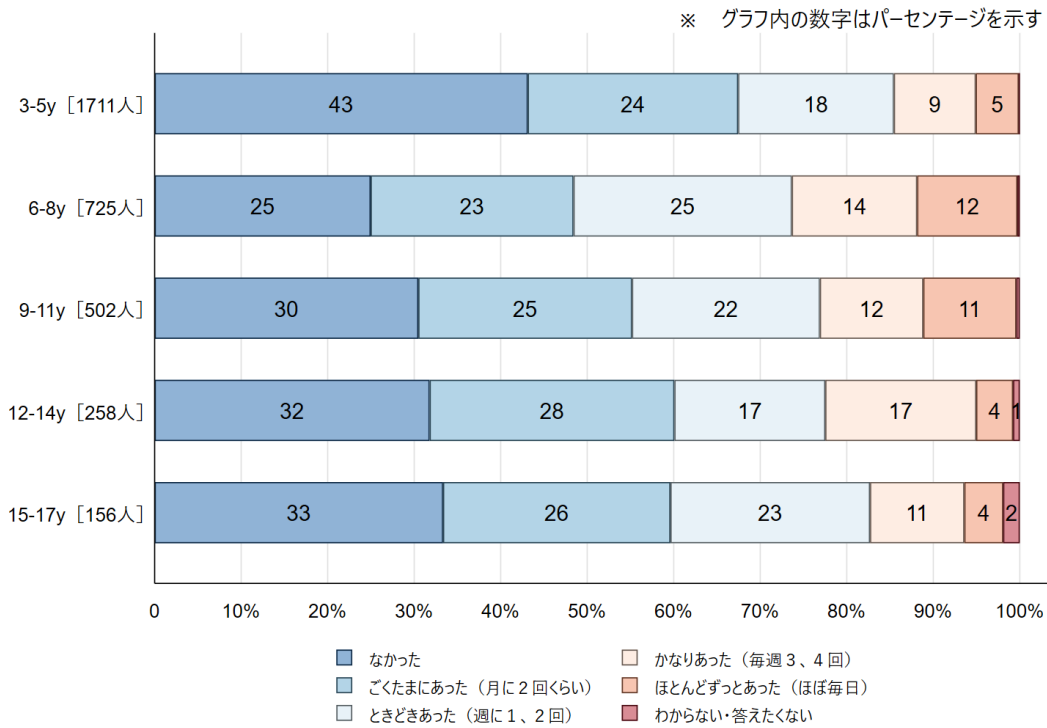
(6) 以前は好きだった遊びや、家族や友達と一緒にしていたことに、興味を示したり参加したりしない (3~5 歳児)



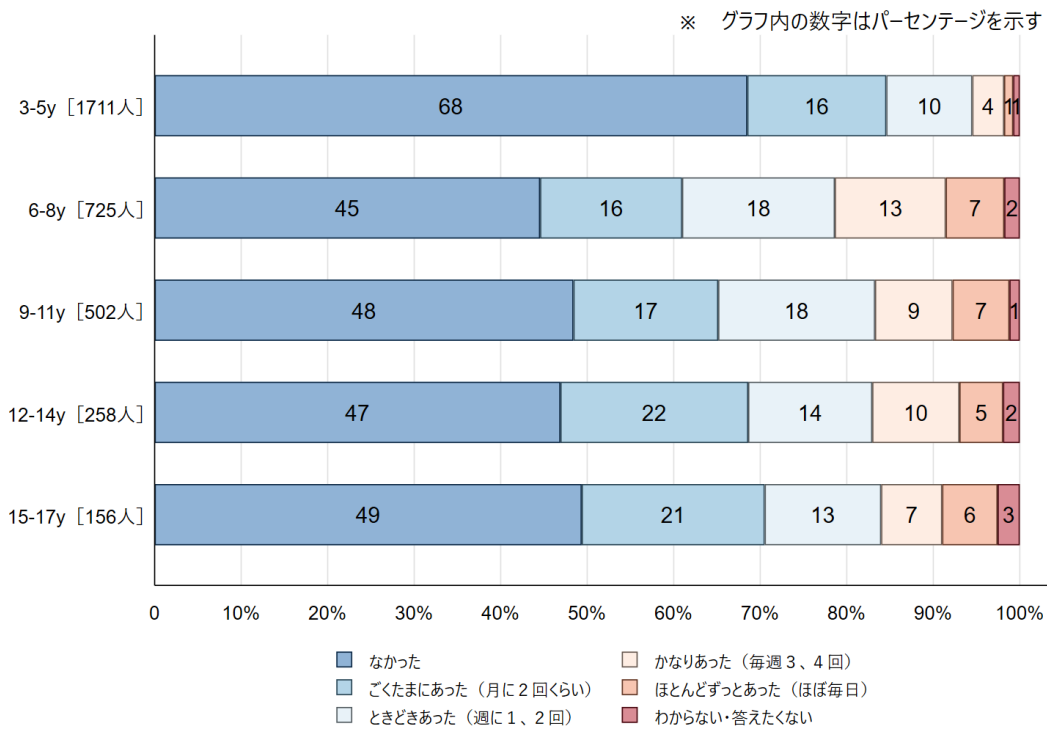
(6) 誰かと一緒にいても、自分はひとりぼっちだと感じると表現する (6 歳児以上)



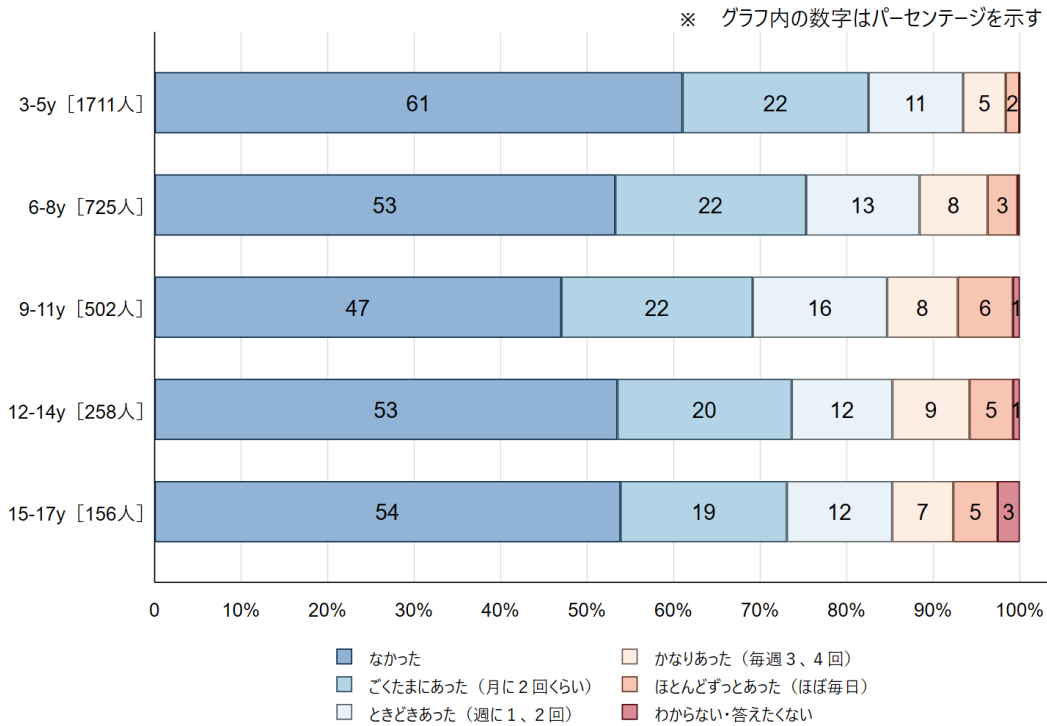
(7) すぐにイライラしたり、怒るような場面ではないのに感情を爆発させたり、激しい癩癩(かんしゃく)をおこしたりする



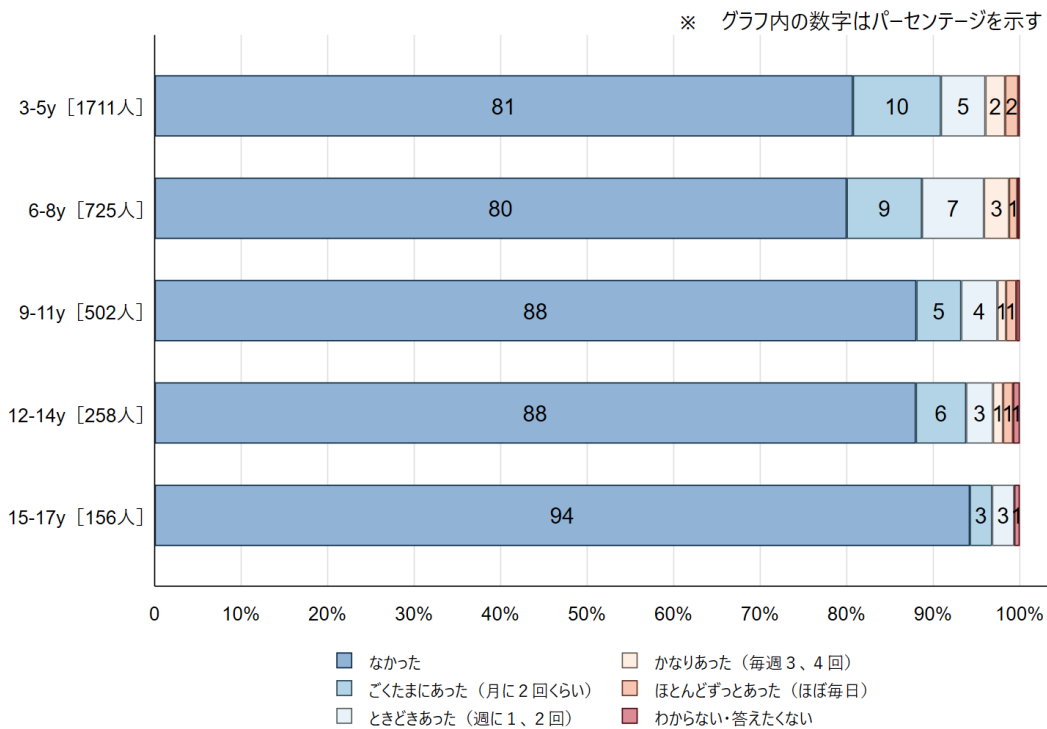
(8) 以前に比べて、集中したり、注意を向けたりすることができない



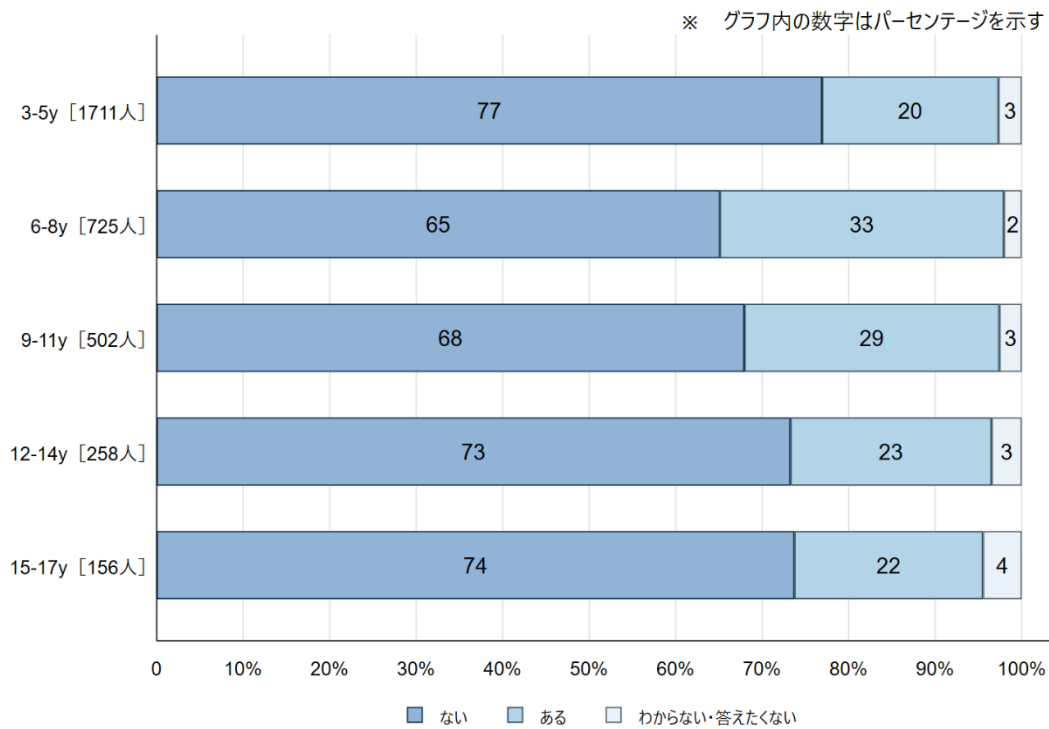
(9) なかなか寝付けなかったり、夜中に何度も目が覚めたりする



(10) 自分の体をわざと傷つけたり、家族やペットに対して暴力をふるうことがある



上の (1) ~ (10) のうちで、1ヶ月以上続いているものはありますか？



・保護者の回答では、「(7) すぐにイライラしたり、怒るような場面ではないのに感情を爆発させたり、激しい癩癩(かんしゃく)をおこしたりする」がすべての年齢群で最多だった。小学生では、「かなりあった(毎週3,4回)」「ほとんどずっとあった(ほぼ毎日)」が2割以上を占めた。

上の選択式（複数回答可）の質問の次に、自由記載で下記を尋ねた。
ほかに お子さまの様子で 気になることがあれば 教えてください。

記載された内容をカテゴリ別にまとめて抽出し、以下に記述する。

保護者

【癩癩（かんしゃく）】

- ・癩癩が増えた（未就学女兒/神奈川）
- ・激しい癩癩、（未就学男児/東京）

【イヤイヤ期】

- ・イヤイヤ期の自粛で大変（未就園男児/神奈川）
- ・イヤイヤ期に入ってきたせいなのか、噛んだり頭突きをしたり、思い通りにいかないと泣いたりすることが増えた。（未就園男児/香川）

【暴力・攻撃的】

- ・怒りっぽく暴力的（小学高学年女兒/滋賀）
- ・とにかく怒りやすく、以前より沸点が低い。（小学低学年女兒/神奈川）
- ・妹をよくつねったりひっかくようになったが、学校が始まってからは落ち着き、今はなくなった。（小学低学年男児 /福岡）
- ・下の子(1歳)を叩く、いじめる（未就学男児/東京）

【イライラ・ストレス】

- ・コロナの終わりが分からないので、イライラしている時がある（未就学女兒/岡山）
- ・家族が狭い家で一緒に過ごす時間が長すぎて、我慢しなければいけないことが多く、ストレスが多いです。（小学低学年女兒/千葉）
- ・友だちと3月から一切会ってもないし、話してもない状態でストレスが溜まったところに、学校からは課題だけが次々に出されていたため、爆発していた。（中学男児/東京都）
- ・以前よりもイライラしていることが多くなった気がする（未就学男児/その他）

【吃音・チック】

- ・ストレス負荷で吃音になりやすいのですが、コロナで自宅保育中は吃音になっていました。（未就学男児/大阪）
- ・目のチックが出てきた（小学中学年女兒/東京）
- ・咳が3週間おさまらず、1日おきに病院へ行き、咳チックと診断をうける（小学中学年男児/埼玉）

【ゲーム・動画・メディア】

- ・テレビを見る時間が増えたので、絵を描いたり工作したり手を動かす時間が減ってしまっ
た。(小学低学年女兒/東京)
- ・学校がないぶんスマホをする時間が長くなったがそれはそれで友達とつながることはで
きたようだ。(中学男児/奈良)
- ・ゲーム依存症の心配になるくらいゲームをずっとしています。ゲームの時間を制限しよう
とすると、癇癢を起こして暴れます。子どもの視力も心配になります。
(小学中学年男児/千葉)

【泣く】

- ・ストレスがかかるとよく夜驚症を起こすが、登園自粛期間中は頻度が多かった。
(未就学男児/茨城)
- ・ちょっとしたことでも泣くようになりました。(小学低学年男児/大阪)
- ・泣く、叫ぶがどんどん酷くなってきた(小学高学年女兒/東京)

【分離不安】

- ・私(母親)の姿が(トイレなど)少しでも見えないと、不安で「ママどこー!」と呼んだ
り、以前は自分でできていたことも「できない!ママやって!手伝って!」と言うことが
増えています。(小学低学年男児/北海道)
- ・母親と離れるのを怖がり幼稚園に行けなくなっている。寂しいから行きたくない。お腹が
痛いと言う。(未就学女兒/愛知)

【人見知り】

- ・自粛生活で家族以外と接してないため人見知りが酷くなった(未就園女兒/神奈川)
- ・今月から再開された習い事に尻込みして入っていけない。恥ずかしいから、と言う。
(未就学女兒/兵庫)
- ・人見知り時期に外出自粛だったため人見知りをしたのかどうかわからなかった。
(未就園男児/東京)

【爪噛み、抜毛、自傷】

- ・日常生活に近付いたことで、自粛期間中にひどかった爪を噛む癖が減った(まだゼロでは
ない)(未就園男児/大阪)
- ・休校になってからこっそり爪を噛むようになりました。一見いつもと変わらず元気に楽し
く過ごしていますが、ストレスや恐怖を感じてるのかもしれない。少しでも安心させて
あげたいです。(小学低学年男児/東京)
- ・髪の毛を抜いていた(高校女兒/兵庫)
- ・わざと傷つける、というか、自分を叩くことがあります、傷がつく程度ではないです。
(未就学男児/群馬)

【蕁麻疹・アトピー】

- ・思い当たらない蕁麻疹が一週間程度続いた（未就学男児/東京）
- ・アトピー体質で、皮膚の状態が悪化した 無意識のうちに掻いたり触っている
（小学高学年女児/東京）

【甘え・退行】

- ・自分で出来るはずの着替え等、全てしなくなった。食事も食べさせて一と言う。
（未就学女児/東京）
- ・友達と交流せず家族とずっといるせいか 1 日中べったり甘えてくるようになった（膝に
乗りたいがるなど）学校が再開したら多少減った。（小学中学年女児/東京）
- ・中2 思春期、自室で寝ていたのに、家族の寝室（父母弟2人）に転がり込んでくるよう
になった。 昼間はつんけんしていても、この時は母親がくっついていても嫌がらず、手を繋い
で寝たりもした。（中学男児/神奈川）

【外出しぶり】

- ・コロナになるからと外出を拒むようになった（未就学男児/神奈川）
- ・小学校が始まって軽快したが、それまではとにかく外に出ることを嫌がり、2 か月ほとん
ど靴もはかない生活だった。（小学中学年女児/東京）
- ・出かけたり、誰かに会うことを嫌がる絶対に、外食しなかった。（小学高学年女児/埼玉）

【便秘・軟便】

- ・便秘が増えた（未就園女児/神奈川）
- ・1 週間やや軟便（未就園男児/福岡）

【おねしょ・おもらし・頻尿】

- ・おねしょが再開した。（未就学男児/埼玉）
- ・おもらしが増えた（未就学男児/埼玉）
- ・休校中はトイレに頻繁に行っていました。排尿しているか不明でしたが、10 分置きに行
くことも多かったです。学校が始まると全く元通りになりました。（小学低学年女児/東京）

【睡眠・生活リズム】

- ・夜寝るのが遅くなった(最近は深夜0~2時で、朝も起きない)（未就園男児/千葉）
- ・自粛中寝るのも起きるのも遅くなり、学校が再開しても放課後に寝たりして生活リズムが
整わない（小学高学年女児/千葉）
- ・学校に行かない為、どうしても生活リズムが狂った。特に朝、起きない事が多かった
（中学男児/山梨）
- ・昼夜逆転（高校男児/東京）

【体力低下】

- ・自粛前と比べ体力が落ち散歩も長い距離歩けなくなっている印象です。
(未就園女兒/東京)
- ・休校が約3ヶ月続いたので体力が落ちたようで、毎日疲れて帰ってくるのが心配。就寝時間を早めたりしているが、いまだにへとへとになって帰ってくる。(小学低学年女兒/茨城)
- ・ずっと家にいたので、通学や部活に足る体力を戻すのに苦労しているようです。
(中学男児/大阪)
- ・

【運動不足】

- ・運動不足、体力余り (未就園女兒/宮城)
- ・運動不足のように感じる (小学低学年男児/東京)
- ・運動不足 (中学男児/東京)

【特別なケアを必要とする子】

- ・知的障害があるので、現状をよくわかってない。(小学低学年女兒/岐阜)
- ・ASD、ADHDの息子。2年続けていた習い事か2ヶ月お休みになり、つい最近再開されました。慣れてきていたのがまた不安が強くなり、初日は1人で「ぶたのしっぽ!」と叫んで飛び回っていました。本人はお友達を笑わせて自分も安心したかったようです。
(小学低学年男児/東京)

【登園・登校しぶり】

- ・保育園自粛期間が長かったので、登園しぶりが続いています(2週間でようやく落ち着いてきましたが、今度は14時くらいに早く迎えに来てほしいと毎日ボヤいています)
(未就学男児/埼玉)
- ・学校に行きたがらない。学校がつまらない、楽しくないと言っている
(小学低学年男児/大阪)
- ・漠然とした不安感があり学校に行きたいのに行けない状況が2週間以上続いている
(中学女兒/三重)
- ・学校へ行きたがらない (高校男児/神奈川)

【疲れ】

- ・学校が始まってからいきなり五時間授業になったので体がついていけず、心身ともに疲れてしまっている(学校で泣き出したりしたため、一日は休ませた)(小学低学年男児/大阪)
- ・通常の投稿や勉強や習い事など一編に沢山元に戻り疲れ果てていると思います。我が子だけでなくみんなが疲れている。そんな印象があります。(中学女兒/東京)
- ・学校がいきなり通常モードになり疲弊している (高校女兒/静岡)

【体調不良・体の変化】

- ・円形脱毛ができた（未就学男児/東京）
- ・最近、頭痛や腹痛を訴えることがときどきあるので、心配です。思春期の入口が近づいているのかなと思ったり、子どもなりにストレスを感じているのかなと思ったりしています。（小学中学年女児/東京）
- ・風では無いが、微熱と腹痛が続いていて、ストレスではないかと感じている。（高校女児/東京）

【不満・憤り】

- ・外出が自由にできないので、その点について憤りがあるようだった。（保育園での散歩や公園遊びができないため）（未就学女児/東京）
- ・"コロナに関する情報がイヤでも入ってくるのが不快に感じていた。自分達子どもが我慢や不自由な生活が続く中で大人の行動、判断が納得出来ないと感じていた（夜の街へ行くこと、政府の対応（アベノマスク、GOtoトラベル等））（中学女児/神奈川）

【集中力・意欲低下】

- ・無気力、集中力の欠如（小学低学年男児/神奈川）
- ・学校行事や部活の大会が全て中止になり楽しみや張り合いを無くしてしまっている。やる気を無くしている感じがする。（中学女児/埼玉）
- ・やる気が出てこない様子。集中力がなくイライラする事が増えた。（中学男児/千葉）

【生と死について】

- ・死にたくないということがあります。また病気になりたくない、逆に病気になって死にたいと言ったことがあります。（未就学女児/石川）
- ・ニュースを見て、新型コロナウイルスのせいで…と言ったり、人が死んじゃったの？などの質問をしてることがあった。保育園の登園人数が減ったり、本人なりに生活の変化を感じているようだった。（未就学男児/三重）

【不安・恐怖・神経質】

- ・手にばい菌がついていないかいつも気にしている。（未就学男児/京都）
- ・循環器に問題はなかったものの、頻脈を起こし、救急車を利用した。不安を大きく感じていた。（中学男児/東京）
- ・給食が怖くなって、食べられなくなった（小学中学年男児/東京都）
- ・両親がコロナにかかっていないか何回も聞いて確かめた（未就学女児/群馬）

【食事】

- ・元から食は細いがあまり離乳食を食べない。（未就園女児/千葉）

- ・家にいることが多いのでお菓子やアイスばかり食べて食事を嫌がります。

(未就園女兒/東京)

- ・食事を摂らないことが度々ある。(小学中学年男児/東京)

【社会性・対人面】

- ・他の同月齢の子に全く会ったことがないのが心配(未就園男児/東京)

- ・友達と会えず、家族としかいないため、あまり楽しくないようだった。たまに保育園に行くとしそうに帰ってきて、生き生きと活動的で語彙が豊富におしゃべりをしていた。

(未就学男児/神奈川)

- ・新一年生ですが、学校でお話を禁止されているので、お友達がいなく、話もできなくて、孤立していると感じている。ちなみに、学校では挨拶も心の中だけで、と言われ声を出せないようになっています。この先が心配です。(小学低学年男児/東京)

- ・中学受験をして、入学はしたが、友達を作るチャンスがなく、気になっているよう(中学男児/東京)

【成長発達】

- ・人に会わない為、バイバイなどができず10ヶ月健診で引っ掛かった。(未就園女兒/福岡)

- ・外出回数が減ったためビタミンD産生が足りているかどうか(骨成長に関与)

(未就園女兒/兵庫)

- ・元々病気があるのですが、外に出られなくて最近やっと歩けるようになったのにまた歩きがおぼつかないようになってしまった(未就学男児/その他)

【落ち着きがない】

- ・落ち着きがない(未就園男児/長野)

- ・ADHDなので落ち着きが無いが、何時もより落ち着きが無かった。

(小学低学年男児/東京)

【気持ち】

- ・気持ちの切り替えが前よりも時間がかかるようになった。(未就園女兒/愛知)

- ・会話の中で「コロナがおさまったら〇〇したいね」というのが増えたので、我慢しているのが伝わってくる。(未就学男児/京都)

- ・外出自粛が始まって少しした頃(4月ごろ)から様子がおかしくなり、自分がバカになった気がする、嫌なことばかり考えてしまう、前は楽しかったのに今は何にも楽しくないの、などと言って泣き出したりしていた。1ヶ月以上繰り返していたが今はほぼ落ち着いている。(未就学女兒/神奈川)

- ・外出できない、友人と以前のように遊べない、楽しみにしていた誕生日会ができないことで、落ち込んだり、ふさいだり、自信を失っているようだった(未就学男児/神奈川)

- ・コロナのせいで人生狂った。死にたい。と言う(小学高学年男児/東京)

【ポジティブな様子】

- ・父親が在宅勤務になり、とても楽しそうにしています。今後、在宅勤務が終了したら、これまでのように毎日接することができず、寂しくならないか心配です。
(未就園男児/神奈川)
- ・学校に行かないぶん、寧ろリラックスできたようです。(小学低学年女児/東京)
- ・学校があることで、休校中とは違い生き生き生活しているように感じる。
(小学中学年女児/東京)
- ・昨年不登校だったが、分散登校から通えている (小学高学年男児/神奈川)
- ・不登校で引きこもっているの、むしろ世の中のみなさんの暮らしが自分と近くなったように感じたようで、コロナによるダメージは今のところなさそうです。(中学女児/東京)
- ・学校に行かないため、のんびり勉強したり、自分のやりたいことをしたりといつもより楽しそうです。(高校男児/神奈川)

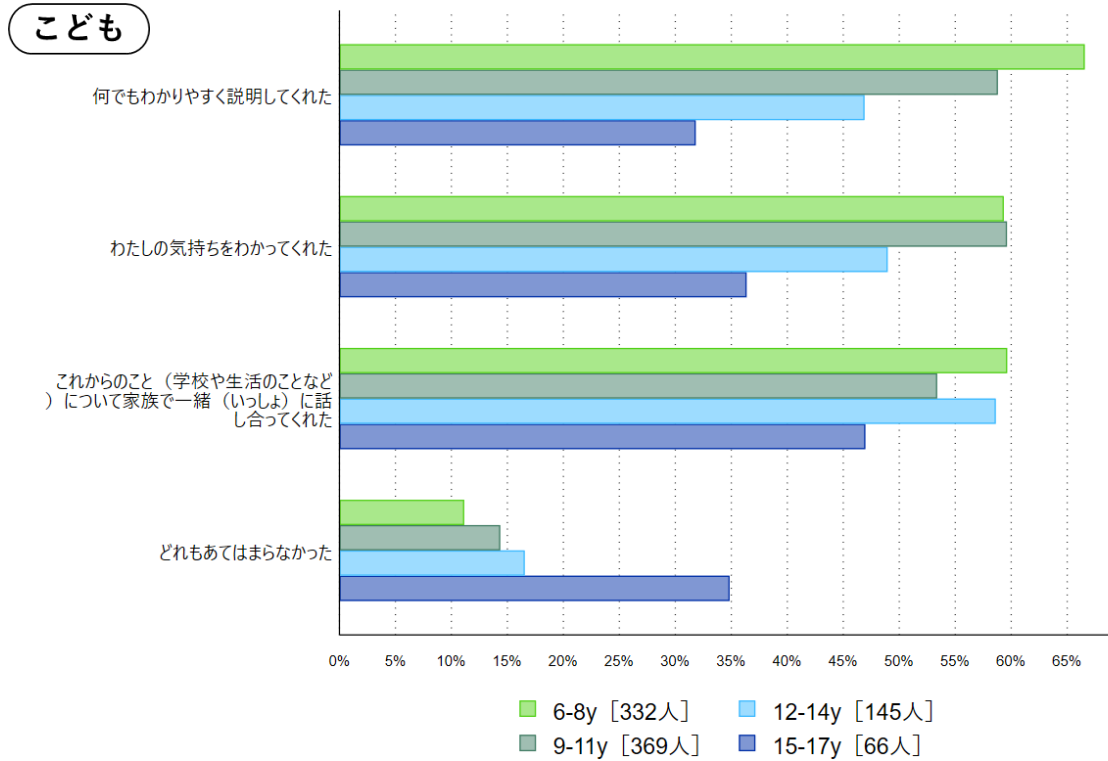
【その他】

- ・コロナのニュースで、名前を覚えやたらというようになった。(未就園男児/秋田)
- ・自粛で親の接する時間が増えたが、両親とも医療従事者なので心配は尽きません。
(未就園女児/神奈川)
- ・親の不安から八つ当たりしてしまうこともあり、こどもの親への気持ちがどんどん離れているのではないかと心配になる。(小学低学年男児/福岡)
- ・家族の絵を描いた時に黒い点々でコロナを描いていたのが少し気になった。でも家族の絵は笑顔で楽しそうな雰囲気だったし本人もいつも通り楽しそうに描いていたので、『コロナが飛んでる』状況をそのまま表しただけなのかなあとも思い誰かに相談したりはしなかった。(未就学男児/栃木)

親子の関わり

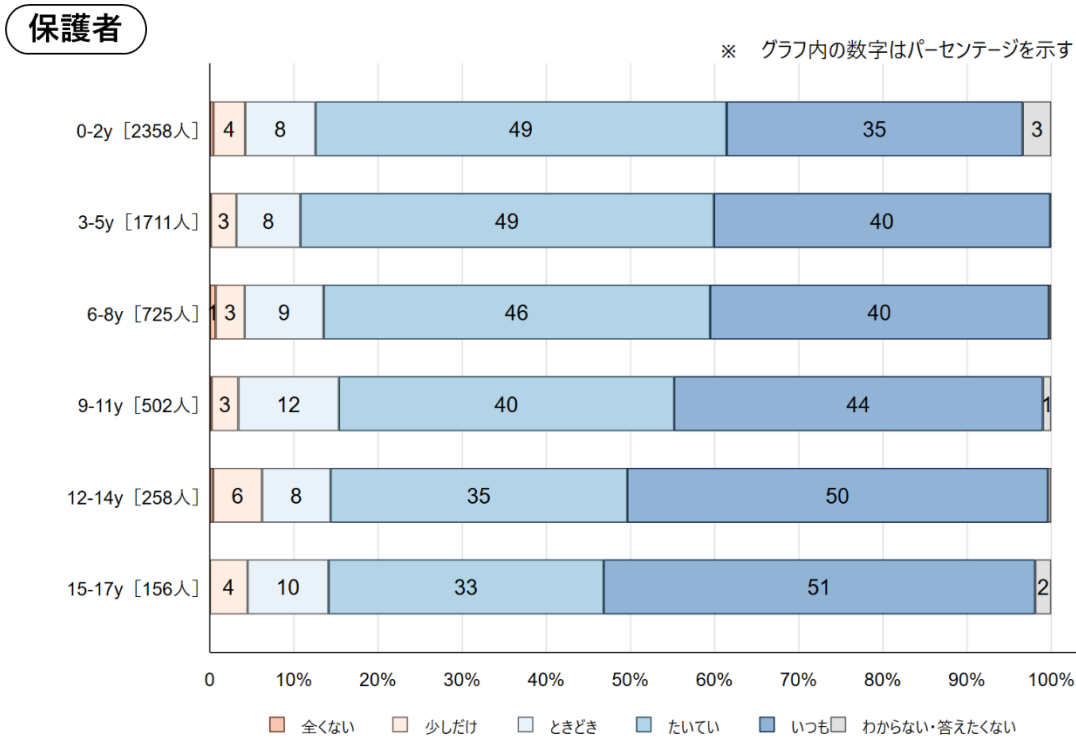
好ましい関わり

この1ヶ月間を思いだして、おうちの人にあてはまるものを全部えらんでください。

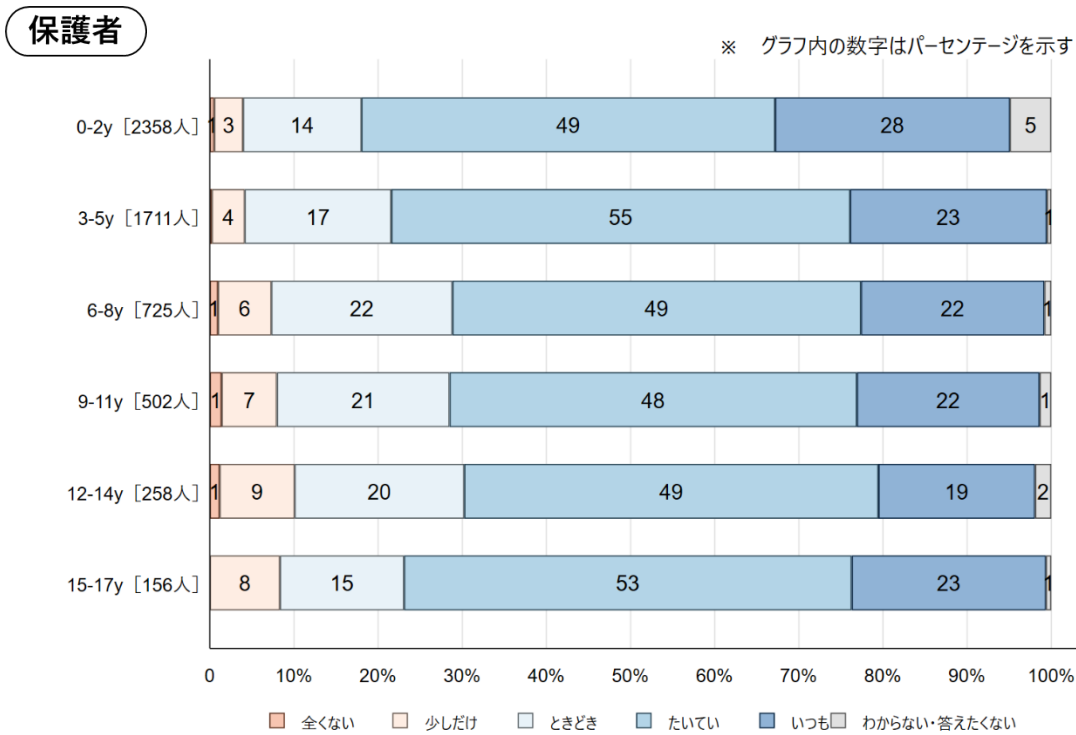


・「何でもわかりやすく説明してくれた」「わたしの気持ちをわかってくれた」「これからのこと（学校や生活のことなど）について家族で一緒に話し合ってくれた」のいずれもあてはまらないと回答したのは、小学生で10%強、高校生では30%強にのぼった。

(1)-1. なるべく、何でもお子さまに分かる言葉で説明するように心がけている

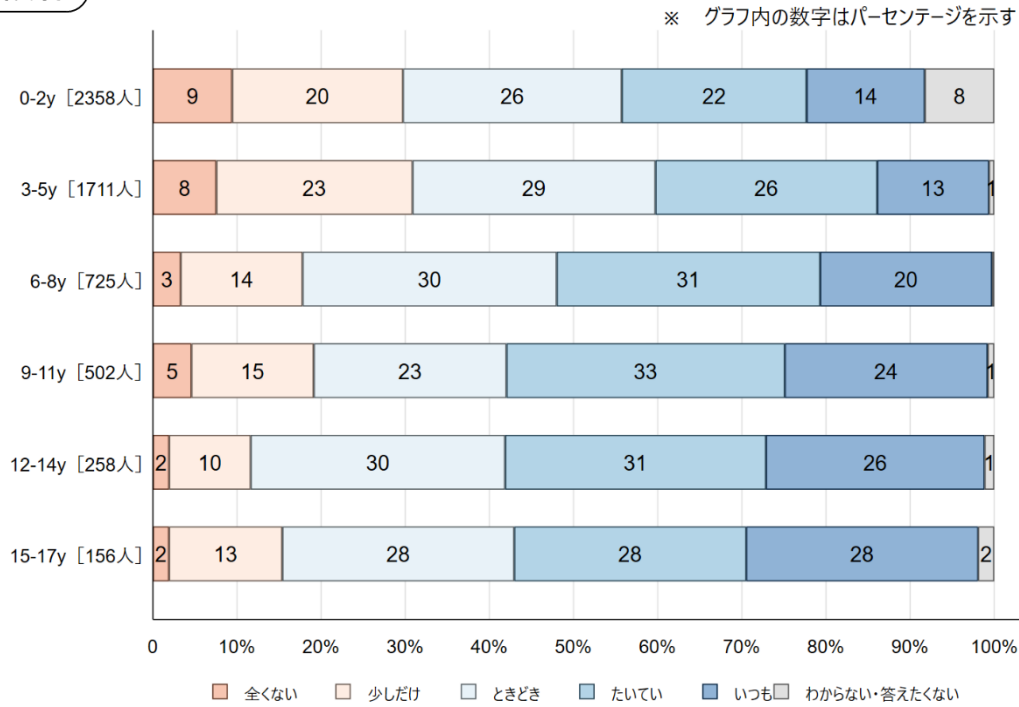


(1)-2. お子さまが表現した気持ちに、「そうだね、～の気持ちがあったんだね」などと、気持ちを否定せずに共感する機会を作っていた



(1)-3. これからのこと（学校や生活のことなど）について、家族で一緒に話し合うようにしていた

保護者



・「(1)-1. なるべく、何でもお子さまに分かる言葉で説明するように心がけている」については、どの年齢群の保護者も8割以上が「たいてい」「いつも」と回答した。

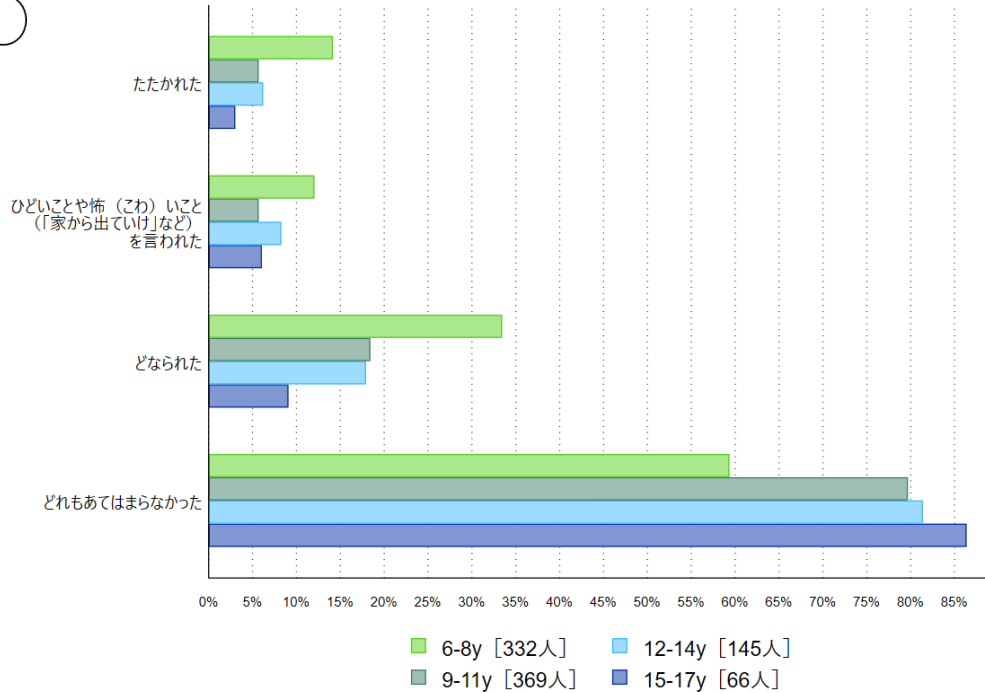
・「(1)-2. お子さまが表現した気持ちに、「そうだね、～の気持ちが出たんだね」などと、気持ちを否定せずに共感する機会を作っていた」については、7～8割前後の保護者が「たいてい」「いつも」と回答した。

・「(1)-3. これからのこと（学校や生活のことなど）について、家族で一緒に話し合うようにしていた」については、未就学児では3～4割、小学生以上では5割以上の保護者が「たいてい」「いつも」と回答した。

好ましくない関わり

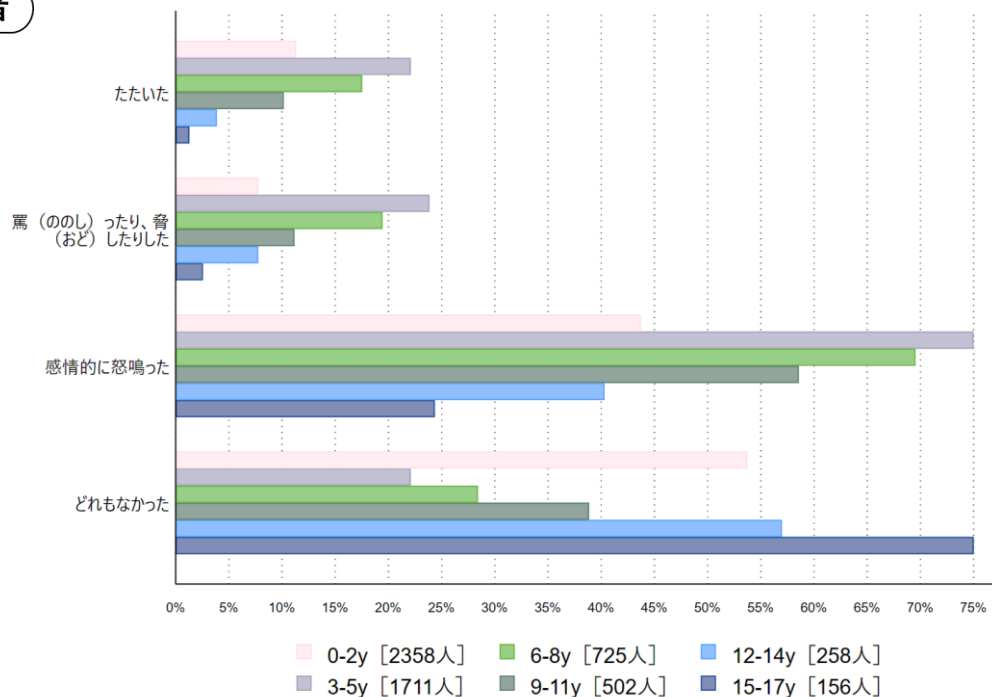
この1ヶ月間を思いだして、おうちでのあなたにあてはまるものを全部えらんでください。

子ども

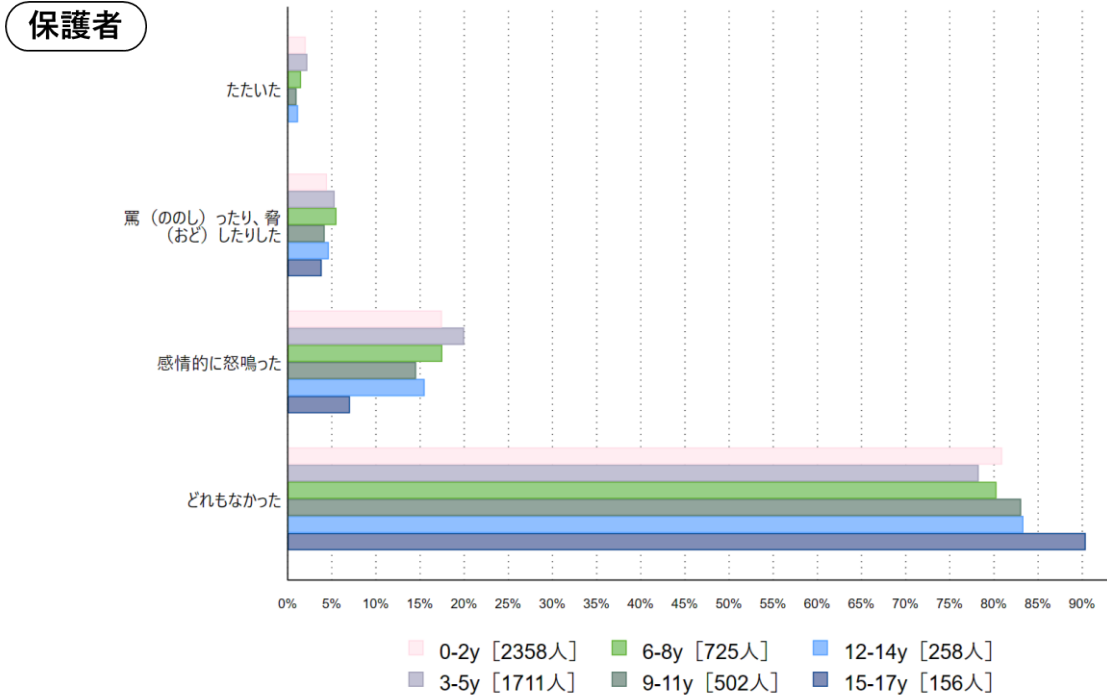


(2) この1ヶ月間に、あなたやご家族のおとなが、お子さまに対して、次のようなことをしたことがありましたか？ あてはまるものを、すべて選んでください。

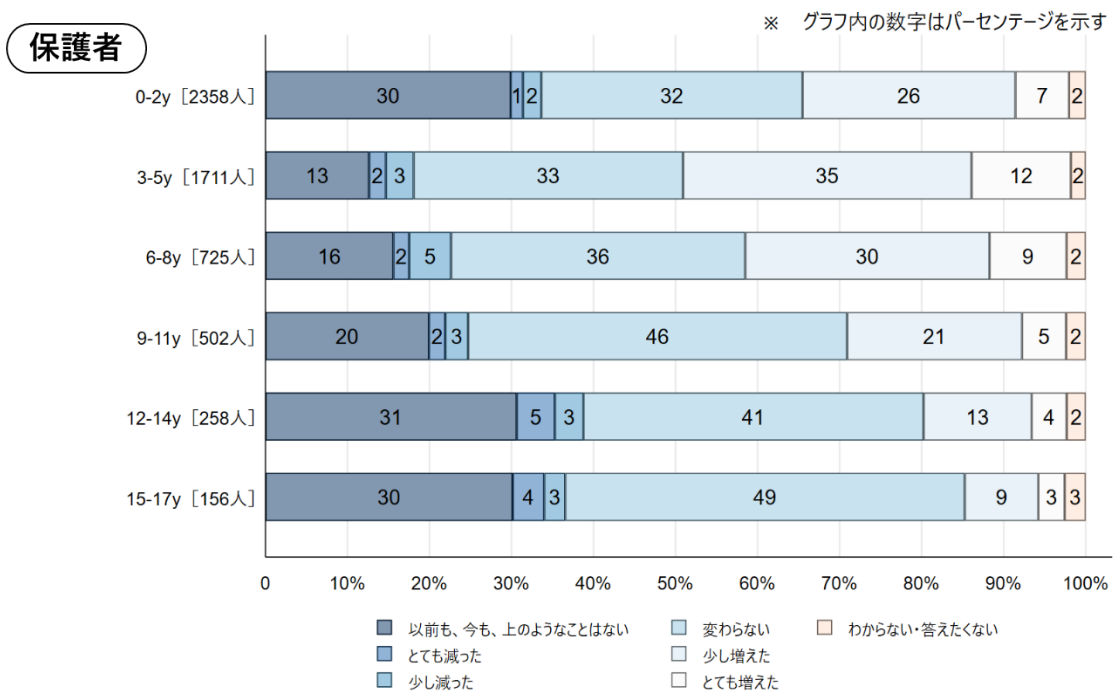
保護者



(3) この1ヶ月間に、あなたやご家族のおとなが、お子さま以外の誰か（他のおとな）に対して、次のようなことをしたことがありましたか？ あてはまるものを、すべて選んでください。



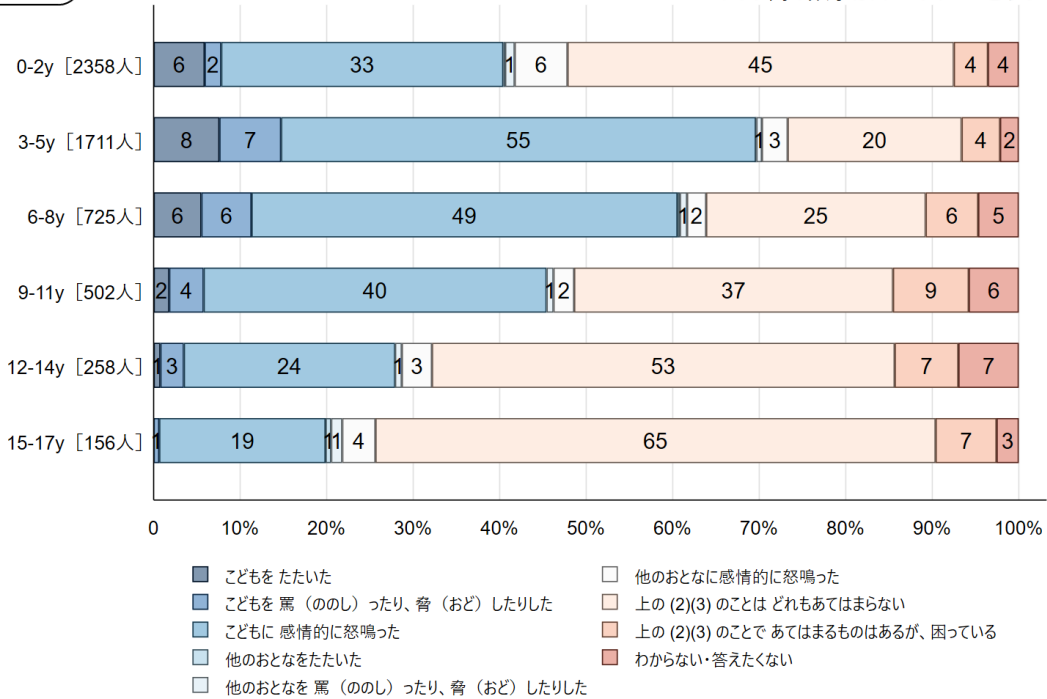
(4) 上の (2)(3) であてはまったことの頻度は、2020年1月時点と比べて、どうですか？



(5) 上の (2)(3) であてはまったことの中で、あなたが1番困っているのはどれですか？

保護者

※ グラフ内の数字はパーセンテージを示す



子ども

・小学低学年のこどもの33%が「どなられた」、14%が「たたかれた」と回答した。

保護者

・家庭内でおとなから子どもへの好ましくない関わりについて、保護者の回答では全年齢群で「感情的に怒鳴った」が最多で、未就園児で44%、3～5歳児で75%、小学低学年で70%、小学高学年で59%、中学生以上で34%が該当した。

・家庭内でのおとな間での好ましくない関わりについて、保護者の18%が「感情的に怒鳴った」ことがあったと回答した。

・保護者の36%が、家庭内での対子ども、あるいは対おとなの好ましくない関わりについて、2020年1月時点と比べて「少し増えた」または「とても増えた」と回答した。特に3～5歳児では「とても増えた」が12%を占めた。

・いずれかの好ましくない関わりがあてはまった保護者では、「子どもに感情的に怒鳴った」ことについて1番困っているという回答が最多だった。

保護者のメンタルヘルス

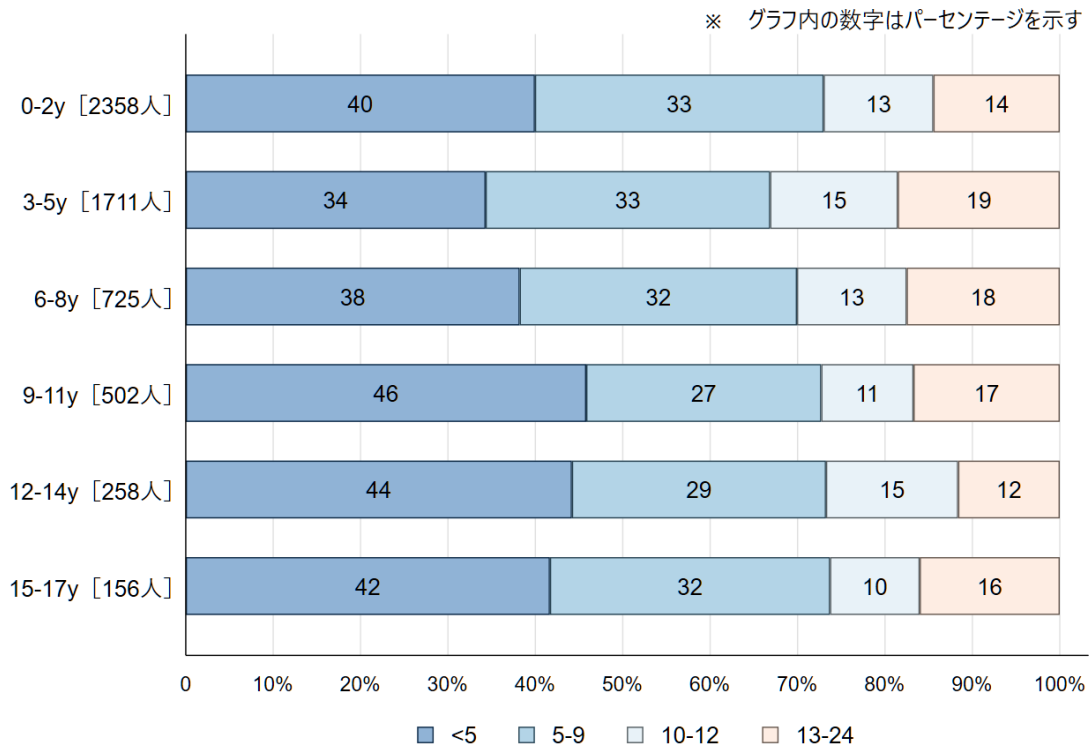
ここでは、すべて **保護者** の回答を集計した。

こころの状態

日本語版「K6」尺度により、保護者自身のこころの状態を尋ねた。直近1ヶ月について、6つの質問について、5段階[全くない、少しだけ、ときどき、たいてい、いつも]で尋ね、点数化した。

合計点数は0～24点で、高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとしている。

- ・5点以上：中等度(こころに何らかの負担がある状態)
- ・10点以上：高度(気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている状態)
- ・13点以上：極高度(深刻なこころの状態のおそれがある)

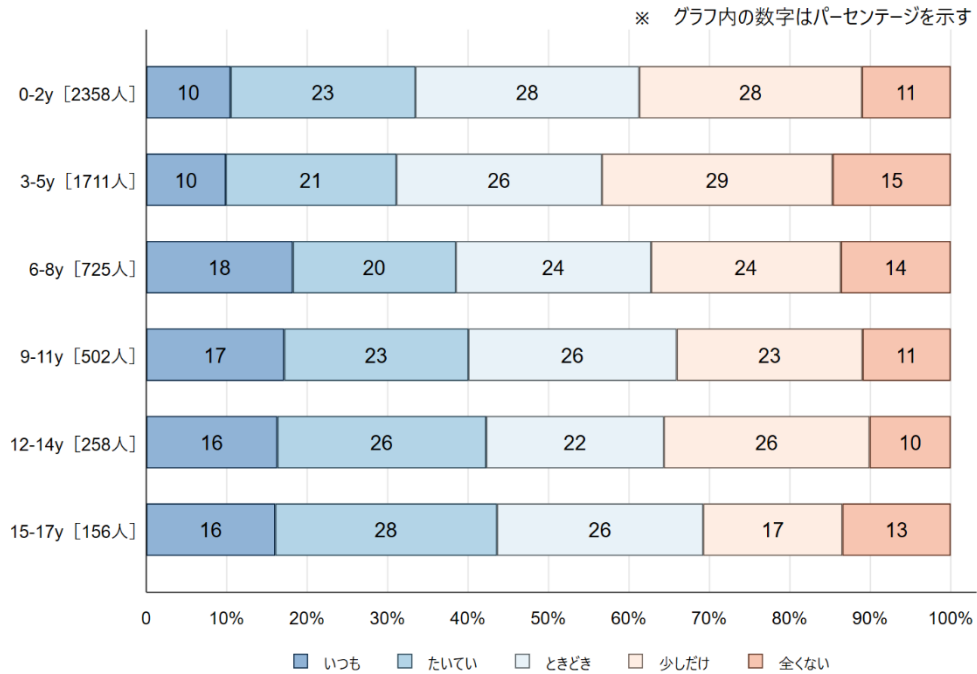


- ・K6尺度で5点以上（こころに何らかの負担がある状態）が63%を占めた。
- ・13点以上（深刻なこころの状態のおそれがある）は全体の20%を占めた。

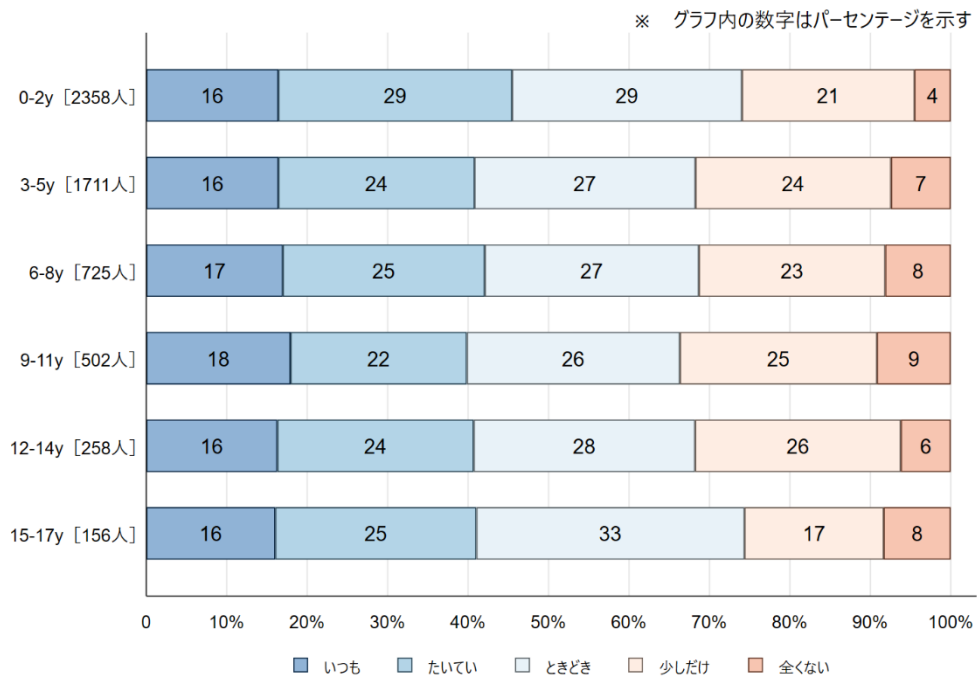
保護者のストレスケア

こころの状態同様に、直近1ヶ月について、5段階[全くない、少しだけ、ときどき、たいてい、いつも]で尋ねた。

あなた自身のセルフケアやストレス対処の方法を大事にっていましたか



近しいと感じる・信頼できる人と、望む程度の連絡をとっていましたか



・全体の12%がセルフケアやストレス対処の方法を全く大事にできていないと回答した。

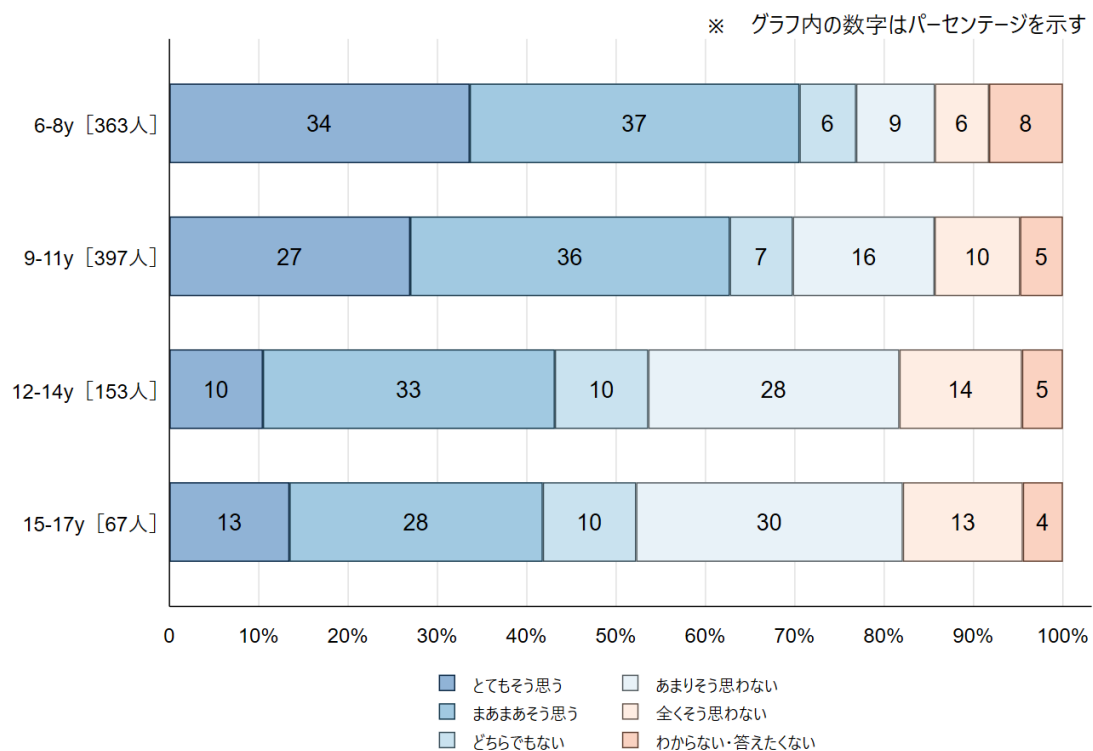
子どもたちの声

ここでは、すべて **子ども** の回答を集計した。

子どもの意見は反映されているか

"コロナによって、いろいろなことが変わりましたね。"

子どもの ことを 決めるとき、おとなたちは 子どもの 気持ちや考えを、よく聞いていると 思いますか？"



[とても思う, まあまあ思う, どちらでもない, あまりそう思わない, 全くそう思わない, わからない・答えたくない]

・小学低学年の 15%、小学高学年の 25%、中高生の 42%が「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と回答した。

※上のグラフ「6-8y」の解析対象者数および分布を修正した。(2020年9月7日)

おとなたちに言いたい・伝えたいこと

おとなたちに言いたい・つたえたいことがあれば、教えてください。(できれば、だれに、どんなふうに聞いてほしいかも、教えてください。)

自由記載で尋ねた。記載された内容をカテゴリー別にまとめて抽出し、以下に記述する。

(※たくさんのお返事をいただいたため、紹介できるのは一部のみになっています。)

【苦言】

- ・色んな大人たちへ。飲み屋さんとかで大人たちが騒いでいるのを見ると、私たちが普段学校とかでしている対策は何なんだろうと思う。(中学女兒/島根)
- ・テレビのインタビューとかでも親世代の人が「子供がずっと家にいるのがストレス」って言ってるのをよく見るけどそれは親だけじゃなくて子供も同じだし、目の前で自分の存在を否定されたらつらい。子供は所詮子供だから偉そうなことを直接言えないのに一方的に押し付けられるのは理不尽というか、不平等な気がする。(中学女兒/埼玉)
- ・子どもをバイ菌あつかいしないでほしい。(中学女兒/愛知)
- ・マスクしろ、旅行するな、家で過ごそうという大人たちへ、自分たちはそれでいいかもしれないけど、子どもはつらい(小学高学年男児/北海道)
- ・おとなのひとはおさけをのみにいけるのに、こどもがあつまってあそぶのはダメなのはなんで？(小学低学年男児/栃木)
- ・子供が可哀想だから…とか大人はよく言うけど実際思っていないくせに…と思う(小学中学年女兒/東京)

【心情】

- ・僕たちを守ってください。(親が聞いて書き込んでます)(小学低学年男児/東京)
- ・前みたいに、友達と外で遊びたいです。(小学高学年女兒/愛知)
- ・じどうかんでさみしい(小学低学年男児/北海道)
- ・勉強ばかりで思い出が全くない(小学高学年女兒/神奈川)
- ・なにか言っても変わらないと思う。(小学中学年女兒/東京)

【声を聴いて】

- ・子どもも学校のコロナ対策に参加したい。決められたことしかしないのはおかしい。(中学男児/鹿児島)
- ・学校の事や子供の事を決めてる人は、ぼくたちの気持ちは無視なのかなあ？そんな大人の人達に、ぼくたちの気持ちを知ってほしいです。(小学高学年男児/茨城)
- ・大人だけでいろいろ議論しないで、子どもの気持ちも聞いてください。(小学高学年女兒/愛知)
- ・コロナのせいで日常とは違った生活になってイライラしたり気に入らなかつたりするのはわかるけどもう少しだけ子どもの事も考えて欲しいです。(中学女兒/新潟)

- ・学校関係の対策をする場合、その地域の子供達に意見を聞いた方が良い。大人が言う事に全部従わないといけなくて窮屈。たとえ、それが私達子供のためであっても、やり方を間違えていると思う。(小学高学年女兒/わからない・答えたくない)

【接し方】

- ・お母さんに座ってちゃんと聞いてって (高校男児/静岡)
- ・やさしい、いいかたをしてほしいです。(小学低学年女兒/東京)
- ・イライラすることはいっぱいあるけど、嫌みを、あまり、口に出して欲しくない。
(小学高学年女兒/大阪)
- ・うちのの人に、すぐに怒らないでほしいと伝えたいです。(小学高学年女兒/京都)
- ・誰かが悩んでいる時は、ちゃんと話を聞いて欲しいです。(小学中学年女兒/愛知)

【コロナに関して】

- ・コロナの事を考えると、心が悲しくなる事がある(コロナの事を考えなくてもそうなることがある)(小学中学年女兒/神奈川)
- ・コロナがはやくなくなしてほしい (小学低学年男児/群馬)
- ・がんばってコロナを乗り越えて行きたい (小学低学年男児/東京)
- ・いつになったらコロナの薬が完成するのか、お医者さんに聞きたい。どうやってコロナが発生したんですか？ (小学低学年男児男/福岡)
- ・コロナになりたくない (小学低学年女兒/埼玉)

【励まし】

- ・アンケートを作った人たちも頑張ってください。(小学中学年女兒/神奈川)
- ・今、とても大変ですが、大人の皆さんには、これを伝えたいです。
今、仕事がしたくても出来ない人もいるから、とてもやりがいを感じて欲しい。
自殺したい、死にたいなんて思わないで欲しい。
生きていることにやりがいを感じて欲しい。
大人の皆さん、お仕事ご苦労さまです。私たちも学業を頑張ります。
↑これを伝えたいです。お願いします。(不明/わからない・答えたくない)
- ・新型コロナウイルスの薬を作っている人たちへ、私はもし友達が新型コロナウイルスにかかっても友達をきずつけません。わけはきずつけられた子が、かわいそうだからです。わたしは、できるだけたくさんの子に「ともだちは、大事にしたほうがいいよ。」とつたえたいです。みなさんもがんばってください。(小学低学年女兒/大阪)

【感謝】

- ・いつもありがとう家族 (小学中学年女兒/東京)
- ・先生、お父さんとお母さんに、いつもありがとうと言いたい。
(小学低学年男児/神奈川)

- ・家族に、私をコロナから守ってくれてありがとうと言いたい。(不明/三重)
- ・このアンケートをしてくれた人 「ほんとうにありがとう」
(小学高学年女兒/埼玉県)

【体調への気遣い】

- ・母と父、コロナにかからないでね(小学低学年男児/東京)
- ・みんなコロナにかからないで欲しい(小学中学年男児/神奈川)

【休校期間中のこと】

- ・学校の考えが変わり振り回された休校だった(小学高学年男児/北海道)
- ・毎週毎週次から次へと課題を出されても多すぎてやりきれない 課題さえあれば勝手にできているのか 先生たちは自分の教科だけだけど、生徒はあれもこれもって出てくるから困る。成績に入るとかいうし。登校したくなくても怠けてると思われている。(高校男児/神奈川)
- ・休校中のオンライン授業をもっと長い時間、頻繁にやって欲しかった。友だちに会えるから(教育委員会が学校に)。(小学高学年女兒/東京)

【学校再開にあたり】

- ・コロナにかかるのが怖い。学校に行きたくないと思ってしまう(小学高学年女兒/東京)
- ・学校の先生に、頑張ってきていることを知ってほしい。(小学高学年女兒/神奈川)
- ・マスクが暑くて苦しいので、学校でもはずしたい。学校で新しいお友達ともっとお喋りや遊びをしたい。小学低学年女兒/神奈川)
- ・がっこうがはじまって きゅうにながくなったから とてもつかれる
(小学低学年男児/大阪)
- ・学校をもっと休みたい。(小学高学年男児/神奈川)
- ・がっこうはたのしい(小学低学年女兒/神奈川)

【学校その他】

- ・学校は勉強だけでないです。その他の時間の方が大切なことをもっと知ってほしい。
(高校男児/群馬)
- ・学校の先生：学校で布マスクを配ったけど、布マスクを使っている人が少ないし、使うと目立つから嫌。(中学女兒/神奈川)

【その他】

- ・分からない(小学低学年男児/東京)
- ・今のままで満足です。(小学中学年女兒/神奈川)
- ・この世界の誰かに 「みんな同じだよ～」 以上です。(小学高学年女兒/埼玉)

保護者の声

ここでは、すべて **保護者** の回答を集計した。

知りたいこと・必要なもの

あなたが いま 知りたいことや、あったらいいなと思うことがあれば、教えてください。
自由記載で尋ねた。記載された内容をカテゴリー別にまとめて抽出し、以下に記述する。
(※たくさんの回答をいただいたため、紹介できるのは一部のみになっています。)

【保育園・幼稚園に関して】

[再開や自粛解除]

- ・また自粛になったらこまるので、保育園は開所していて欲しい。(未就園女兒/神奈川)
- ・コロナの第二波が不安で、もうすぐ1歳になる子供を来月から自粛解除になる保育園に登園させるか迷っています。(未就園男児/東京)
- ・休校、休園による予防効果はどれほどあったのか？(未就園男児/東京)

[感染予防対策]

- ・幼稚園の検温表が、紙媒体で、取り扱いが面倒。保育施設・幼児教育施設では、体温記録アプリの利用などを推進してほしい。(未就学女兒/東京)
- ・保育園や小学校でのコロナ対策は、職員の多大な負担になっているように思う。今は致し方ないと思うが、やめ時について公式に公表してほしいと思う。過度なルールについては適切な時期にやめるべきではないか。(未就園男児/東京)
- ・保育園や学校が再開して、どれくらい子供の間で感染が広がるものなのか、子供たちが重症化するようなことが良くあるのか、リスクの程度を知りたい。(未就学女兒/兵庫)

[保育園の先生やお友達とのオンラインでのつながり]

- ・幼児を持つ親同士のオンラインでのつながり(未就園女兒/神奈川)

【通常の支援やこどもの預かり先が得られない】

[こどもと離れる時間が必要]

- ・子供と離れて何もしていない時間が欲しい(登校が再開したのでこのところようやく家の片付けや掃除をする心の余裕が出てきた)。(小学低学年男児/神奈川)
- ・母親自身が少しの間でも子供から離れて、心身共に穏やかになるための方法があるとありがたいのですが。(未就園女兒/石川)

[こどもを預かってくれる場所や人]

- ・保育園で短時間だけ子どもを預かってもらえるとても助かる。感染症対策で休止しているところが多いので（未就園児/東京）
- ・また保育園が自粛で休園措置になったらと思うと絶望（未就学女兒/兵庫）

[在宅勤務と子育ての両立困難]

- ・子どもを見ながら仕事をするの大変さがわかるような映像があれば、会社のメンバーに見てほしいです。（未就園児/東京）
- ・共働き世帯への子育ての支援サービス、協力しない夫へ介入してくれる第三者機関（未就学女兒/愛知）
- ・世の中が在宅勤務を素晴らしい方法だと勧めているけど、そのことの悪影響をどう解消していくか、もっとさかんに考えて、記事にしたり報道してほしい。（小学低学年女兒/東京）

[育児休業延長に関して]

- ・0歳児の母で育休中（埼玉県在住、都内勤務）ですが、1都3県では育休延長・職場復帰期限を見直していただきたいです。もしこのまま自分が職場復帰をし、コロナに感染し、子どもにも移し、さらに保育園内でも広まってしまったらと思うと怖くて仕方ありません。（未就園男児/埼玉）

【学校に関して】

- ・本当に今やっている対策は有効なのか、通勤や通学でマスクやフェイスシールドをつけることなど（小学低学年女兒/東京）
- ・児童の机についたて、フェイスシールドなど、精神的にきつくなることを子供に強要している学校もある。科学的に正しい知識にのっとりたうえで、ある程度は折り合いをつけないと心がやられてしまうことを心配している。プールは危険なのか科学的根拠を提示して、広く周知してほしい。（小学低学年女兒/神奈川）
- ・家族に基礎疾患がいる場合の子どもの休校、家での勉強を認めてほしい。（小学低学年女兒/埼玉）

[学校とのつながり]

- ・今後の学校について、ちゃんと指針が知りたい。（中学女兒/神奈川）
- ・3ヶ月の休校後、子供たちの学習・情緒面でのフォロー体制が少ない（なし崩し的に学校が再開され、そのまま詰め込まれているように見える）ように見えるので、そこがとても残念だし、今後もコロナ同様に、災害などで子供の学びが中断される場合の体制について、すこしずつでも構築していこうという動きがあるはず（あってほしい）のでそれを分かりやすく国や基礎自治体は伝えてほしいと思う。（小学低学年女兒/千葉）

[学習支援]

- ・オンラインという選択肢が春からあったのに大人の怠慢で子供は夏に通学することに

なりました。酷暑の中の通学を止めさせてほしいです。(小学高学年男児/神奈川)

- ・学校休業中のオンライン授業など、家庭だけで家族だけで過ごすことがないように体制を整えてもらいたい。子どもたちが自分のストレスケアのためにタッチケアを学校や保育園など普及させてもらいたい。(小学低学年女児/東京)
- ・すべての学校でオンライン授業+通常授業を実施し、選択できるようにしてほしい。入試に影響があることが不安。オンラインに慣れない子ども達もいると思うが、オンラインならでは他県・他校との交流など新しい時代の学習の在り方を検討してほしい。
(高校女児/沖縄)

【こどもの発達・発育やこころへの影響への心配】

- ・家にこもりきりの生活で、子供の発達に悪影響はないのか(未就学女児/東京)
- ・子どもの安全を守りたいですが、休校や外出自粛、学校再開でも規制が多い状態が続いていて、心身の発達が保障されないのではないかと心配だし、どの程度、活動を再開しているものか、悩みます。(小学高学年女児/東京)

[気になる行動]

- ・緊急事態宣言で家に缶詰にするしかなかった。そのせいか、時期が来たのかわからないが、10ヶ月で突然ひどい後追い・人見知りが始まり、嘔むようになった事がとても困っている。そういう場合の心のケアも知りたい。(未就園女児/東京)
- ・自粛明けから(以前は普通に通っていた)保育園へ行きたくないと言い出した子供は他にいるのか。我が子の状況をどう判断したらいいのか誰か教えてほしい。(未就園男児/岐阜)
- ・ステイホームになり、子供がパパが家にいるのがストレスで咳チックになった。
(未就園女児/兵庫)
- ・キレられたり、ものを投げられたりする。眠い、疲れている等の、身体的理由なのかもしれないが、コロナで4月から登園・外出を自粛し続けている事のストレスなのか。
(未就学男児/千葉)
- ・無気力の子どもをやる気にさせる方法(未就学女児/その他)
- ・子供のイライラが落ち着くことはあるのか。癖になってしまいこのまま感情を自制できない人間になってしまうのではないか。(小学低学年女児/北海道)

[家での遊び方や過ごし方]

- ・オンラインで無料の子供のお歌や手遊び歌の教室があったらいいと思う
(未就園男児/その他)
- ・年齢に応じた家遊びの一覧(未就園女児/京都)

[こどもを安全に遊ばせられる場所]

- ・徐々に社会は再開しているが、子供の遊び場が感染防止の名目で閉鎖されていることが多い。これからは熱中症などのリスクも上がるため、子供が安心して遊べる場所の情報が欲

しい。(未就園女兒/兵庫)

- ・子供達の遊び場に手洗い場を増やしてほしい(小学高学年女兒/大阪)
- ・第二波に備えて、在宅ワークとこどもの居場所のバランス確保等にどのような対策が講じられているかを知りたいです。以前のように全て丸投げなら、絶望しかありません。
(未就園女兒/兵庫)

[こどもにわかりやすい説明の仕方]

- ・結局個人でできる対策は何が一番なのか。こども(未就学児)への説明の仕方。
(小学低学年男児/東京)
- ・家庭や保育園でも使えるような、手洗いや感染予防に関する視覚支援ツールがプリントできたらありがたいです。(未就学女兒/東京)

[小さなこどもへの予防行動のさせかた]

- ・どの程度0歳児を外出に連れ出していいのか(未就園男子/大阪)
- ・0~2歳児はマスク不要とのことだが、何か対策は必要か。ベビーカーの方向を親向きにするなど?(未就園男子/兵庫)

【親が COVID-19 に感染した場合に関する情報・支援】

- ・他に頼るところのない子育て家庭で両親がコロナにかかったとき、子どもはどうなるのか、行政サービスはあるのか知りたい(未就学女兒/滋賀)
- ・かかってしまったらどうするのか、どんな影響があるのか。治ったあとはどんな生活を送るのか。テレビや新聞は全く報じない。家族がコロナにかかることそのものより、そのことで会社や保育園が2週間停止になってしまうことや周りからの影響(誹謗中傷)が不安(未就園女兒/東京)

【子が COVID-19 に感染した場合に関する情報・支援】

- ・子どもが小さくコロナに感染した時私だけならどうなのか、子どもだけならどうなのか、2人や家族揃って感染したらどうなるか、そういうことをきちんと知りたいです。
(未就園女兒/埼玉)
- ・無症状での感染率・小さい子どもがコロナになったあとの後遺症(未就園女兒/埼玉)
- ・コロナに感染したらいじめに合わないかとか心配でしょうがない。また、病院で風邪だと思うけどコロナかもしれないなど不安な事を言われると精神的に悩む。先生に小児科ではあまりPCR検査はしないと聞きましたが、本当なんですか?
(小学低学年男児/神奈川)
- ・子供がコロナウイルスにかかった場合どのような経過をたどるのか(症状・入院期間・療養期間など、あまり報道がない)ウイルスが陰性になった後の生活で体調面等で留意する必要はあるのか(運動や学校生活での制限など)後遺症の心配はあるのか・冷静な立場からの症例や手記のようなものを読んでみたい(小学低学年女兒/東京)

【地域の医療機関情報や医療体制に関する情報】

- ・PCR検査の無料化です。誰でも気軽に検査を受けられることが必要だと思います。
(小学低学年男児/東京)
- ・希望する人にはPCR検査をできるようにしてほしい(小学低学年女児/広島)
- ・ワクチンは本当にできるのか。コロナと川崎病との関連はあるのか。子どもはコロナにかかっても後遺症とか大丈夫なのか。(未就学女児/愛知)

【差別や偏見など】

- ・コロナ感染者を責めない空気が、広がればいいと思う。(小学低学年/広島)
- ・家族が持病持ち、身内が癌治療中なので、ウィズコロナは精神的に辛い。気をつけていると風邪と同じという意見の人から攻撃されてしまい悲しい。(未就園男児/神奈川)

【こどもの健診やワクチンの情報】

- ・集団検診が中止や、新生児訪問事業が中止になっているので子供の発達を調べるすべがなく心配(未就園男児/新潟)
- ・コロナの影響で療育相談ができなくて苦しい(未就園男児/愛知)
- ・オンライン診療で受診したほうがいいのかもみてもらいたい。(未就園男児/愛知)

【経済的な支援やその情報】

- ・旦那の給料が減り経済的な負担が大きくそれが子供の対応に影響してしまう。できれば金銭面で何か補助して欲しい。(未就園男児/北海道)
- ・収入が激減し、生活が苦しい。学校に関わる費用など政府に助けて欲しい。
(小学低学年女児/4)
- ・就労支援・経済支援(高校男児/東京)

【妊娠・出産に関する支援やその情報】

- ・出産前のPCR検査をやめて欲しいです。偽陽性で帝王切開されたらたまらない。妊娠初期・中期にコロナに罹った場合の影響が知りたいです。(未就園女児/茨城)
- ・妊娠中の母親が感染した場合の母親本人やその胎児、また感染下で出生した新生児への与える影響が知りたいが、どこにその情報があるのかが分からない。(未就園男児/東京)

【特別な配慮が必要な子どもへの情報・支援】

- ・障害のあるこどもたちへの影響(中学男児/神奈川)
- ・知的障害児です。常に付き添い見守りが必要です。親が陽性、こどもは陰性の場合、親の症状にもよるだろうが、こどもといっしょにホテルで療養できるのか。預け先がない。役所はその時の状況による、相談支援員などと連携して、としか答えてもらえない。確かにそうだが、不安。こどもが陽性、親は陰性のときの付き添いについても知りたい。

(中学女兒/宮城)

【メンタルヘルスを保つための支援やその情報】

- ・母親のメンタルケアができる愚痴の吐口のような相談窓口があれば良いと思う。
(未就園女兒/東京)
- ・子供がコロナや自粛によって受けたストレスのメンタルケアを国全体で考えてほしい
(未就園女兒/東京)
- ・子供のメンタルケア。声かけなど簡単な方法。(未就学女兒/東京)
- ・気分転換の方法(中学女兒/東京)
- ・子供のメンタルクリニックやカウンセリングの場所を知りたい(高校男児/福岡)

【正確な情報の発信】

- ・幼稚園で、〇〇による除菌装置？を購入したとお知らせがあった。本当に効くのか。飲食店などで、店頭で消毒にお使いくださいと、引き金タイプのスプレー容器に入った消毒薬が置いてあるが、引き金部分が清潔ではないのでは？どのように使うのがリスクが少ないか？もしくは、使わずに自分でハンドジェルやアルコールシートを持ち歩いて使うのがベターなのか？と迷う。(未就学女兒/東京)
- ・情報がありすぎて、確かな情報にたどりつくのが難しいのもっと発信してほしい。
(未就園男児/神奈川)
- ・コロナ禍で、デマが増えたことや、混乱についての情報が多く入ってきます。
(小学高学年女兒/兵庫)
- ・コロナに関するもっと正確なデータを明らかにしてほしい・正確なデータを出すための体制を整えてほしい(中学女兒/東京)

[終息しないことへの不安]

- ・いつまでコロナ対策をすればいいのか、いつ終息するのか知りたい 薬や予防接種等が早く出来てほしい(小学低学年男児/栃木)
- ・新型コロナウイルスの終息宣言される条件(未就園女兒/東京)
- ・混雑した電車に乗るのは感染リスクがあるのか、どのくらいでコロナは終息するのか、日常を取り戻すといった、社会的活動をしていっていいのか(小学低学年女兒/東京)

[新しい生活様式・マスク]

- ・店頭で置かれている手指消毒剤の安全性(中学女兒/北海道)
- ・新しい生活様式として、独自に色々な手段を講じているが、科学的に正しいことを国や医師会などから継続的に周知してほしい。(小学低学年女兒/神奈川)
- ・子供が集団生活で布マスクをすることによる効果と低酸素になる成長のリスク
(未就園女兒/千葉)
- ・熱中症予防に外でマスク外していいという掲示をもっとしてほしい。

(小学低学年女兒/福岡)

- ・こどもはマスク不要であることをテレビや新聞等でもっと大々的に広告・啓発してほしい
(未就園男児/兵庫)
- ・何の気兼ねもなく、自由に出歩いたり、マスクを着けずに生活する生活に戻りたいです。
(未就園女兒/千葉)
- ・混んでる電車も怖いし 混んでなくても 怖いし マスクしてない人とすれ違うのも 追い抜かれるのも怖いです (中学女兒/神奈川)

本調査への意見

この調査についてご意見やご要望がありましたら、ご記入ください。(自由記載、一部紹介)

- ・これまでの日常とは違う感情や不安が生じることを、データで肯定してほしい。
- ・ありがとうございます。自分の振り返りにもなりました。結果が、子供支援や親子のサポートに、活かされますように。
- ・実際に子供に対して怒鳴るなどはなかったのですが、設問でそのように回答を迫られると辛い気持ちになりました。
- ・答えるのに振り返っていたら、涙が出てきました。自分で思っていたよりも、気を張って疲れていたんだなと思いました。アンケートの趣旨には反するかもしれませんが、自分を省みる機会としてもありがたいと思いました。
- ・第1回のアンケート結果を見て、皆同じようにストレスを抱えて頑張っていたんだと分かり少しホッとした。
- ・前回は回答したのですが調査結果はどこで見れますか？どのように役立てられていますか？
- ・地方自治体や保育・教育機関にもこの調査結果(特に子ども達の声)を届けて、今後の対策に役立てて欲しい。
- ・調査結果について、学校の先生方へ知らせしてほしい。多くの子どもは表面上学校生活に適應しているが、負担が大きいのではないか。
- ・もっと、この調査の結果が報道で取り上げられてほしい！子供がいる家庭が、こどものケアで右も左もわからない、八方塞がりであることをもっとわかってほしい。普段なら利用できる公共の施設なども利用できず、家庭内でなんとかするしかないこの現状。昼間のワイドショーでも夕方のニュースでも、この手の調査について詳しくやっている番組は見当たらない。
- ・第一回の調査があったことを知りませんでした。情報収集の仕方に問題があったかもしれませんが、より多くのかたが回答するように拡散方法を今一度検討されてはいかがでしょうか。政府や都のコロナ関連や子供関連のLINEで協力を呼びかけてみるのはどうでしょうか。
- ・0歳児を昼間一人で見ていると、コロナ自粛と何ら変わりがないと思います。月齢が低い

ため、あてはまらない項目も多々ありましたが…

- ・脳性麻痺の子供の親です。ずっと通っていたリハビリ（PT）や療育施設が閉まっており、子供に対して刺激を入れられないことが死活問題であるが故、本当に怖くて仕方ありません。障害を持った子供の親に対するアンケートもお願いしたいです。私たちの置かれている状況をもって知って欲しいです。
- ・小児がんや子供の重い病気になった経験がある人にむけて、どうしていくといいか教えて欲しい。わたしたち家族の選択は本当によいのか知りたい さきほどの漫画でコロナにかかって治った人との接触を嫌がらないでほしいという主旨だと思ったが、小児がんや子供が重い病気を経験している家族や本人にとっては、理解はできるがその行動で自分が命を落としかねないという瀬戸際で生活してるので息子はさらに怖がっていました。重い病気を経験した子供たち向けに分かりやすい漫画もあったら、うれしい
- ・最後の漫画がよかった。この頃はコロナよりも人間が怖いのでは、と感じます。特に子供はニュースや親の意見に左右されがちなので、このような見方がもっと広まれば良いと思った。
- ・より多くの人、とくに子供たちが感じていることを伝える場があるのは良いと思いました 結果も参考にさせていただきます 1回のアンケートを短くして、複数に分けてもらえる と助かります

おわりに

今回の調査で、緊急事態宣言や臨時休校解除後のこどもたちや保護者の様子を知ることができました。回答者が第1回調査と必ずしも一致しないため、単純に比較をすることはできませんが、こどもたちのストレス反応に明らかな改善は見られませんでした。COVID-19流行が終息しないままであることへの不安、新しい生活様式、休校期間の遅れを取り戻そうとするカリキュラムへの不適應などがストレスサーになっている可能性があります。この影響は今後も続くと予想され、ストレス反応が慢性化しないように注意深く見守っていく必要があります。

また、コロナに関連した差別や偏見（スティグマ）が、こどもたちの周りにも少なからず押し寄せていることが分かりました。多くの人が「コロナになった人とは、コロナが治っても、付き合うのをためらう（あまり一緒には遊びたくない）人が多いだろう」と感じてしまう社会では、「もし自分や家族がコロナになったら、そのことは秘密にしたい」と思ってしまう人が増えるでしょう。正しい知識をもつこと、自分や周りのひとを大切にする気持ちをもつことが、いま特に必要とされているのではないのでしょうか。

例年、8月下旬～9月上旬にこどもの自殺が多く、夏休み明けを迎えるこどものころへの負担が指摘されています。こどもたちに例年以上のストレスがかかっている今年、夏休み明けのこどもたちの心の負担が懸念されます。こどもたちが少しでも安心して毎日を過ごせるように、家庭や学校などで周囲のおとなができることはたくさんあるはずです。この調査が少しでも、それについて考えるきっかけになれば幸いです。

私たちは今後もこの調査を続けていく予定です。調査の結果は速やかに公開し、現場でのこどもたちへのケアや施策提言に活かしていただけるよう努めたいと思います。さらに、前の調査の結果や社会状況を踏まえながら、次の調査を計画・実施していきます。また、お父さまや保護者の声をより多く集め、より多く活かすために、外部の団体との連携・協力を積極的に行っています。こどもたちの声を聴いて、それをこどもたちのために活かすことにご賛同いただける団体様・自治体様のご協力、ご連絡を心よりお待ちしております。

引き続き、【コロナ×こども本部】・【コロナ×こどもアンケート】へのご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年8月18日

国立成育医療研究センター コロナ×こども本部 一同
co_kodomo@ncchd.go.jp